

第 4 章 NetWare

この章では、プリントサーバ Network Box の NetWare 環境での設定手順について説明します。

4.1. 概要

Network Box を NetWare で使用するには、Network Box 本体の設定と NetWare ファイルサーバの設定を行います。設定内容と方法はご使用環境によって異なります。

4.1.1. バインダリプリントサーバとして使用する場合

Network Box をバインダリプリントサーバモードで使用する場合、ネット上の Network Box 1 台につき NetWare のユーザアカウントを 1 クライアント消費します。

ただし、リモートプリンタモードに比べ印刷速度は早くなります。

設定は Network Box 本体と NetWare のファイルサーバの設定を行う必要があります。

【注意】 PCONSOLE で設定する場合は、設定ユーティリティ等でバインダリキューを登録しログインするファイルサーバ名を Network Box 本体に NetWareFileServer として登録する必要があります。

本体設定のデフォルト名に合わせ、NetWare の PCONSOLE でファイルサーバへの設定を行う必要があります。

また設定項目の詳細については、「4.3. バインダリプリントサーバモードでの使用方法」をご覧ください。

4.1.2. リモートプリンタとして使用する場合

Network Box をリモートプリンタモードで使用する場合、NetWare サーバ上でプリンタサーバプログラムが動作し、そのプリントサーバの配下で Network Box が動作します。

このため、Network Box を複数台接続しても NetWare のユーザアカウントは NetWare サーバで動作するプリントサーバプログラムの 1 クライアントのみ消費することになります。

Network Box に、プリンタポート名を設定します。

また、ファイルサーバにプリントサーバとキューを登録したうえで、NetWare 純正のプリントサーバプログラムを起動する必要があります。

【注意】 設定ユーティリティ等で、起動するプリントサーバ名を Network Box の NetWare Print Server として登録する必要があります。

また設定項目の詳細については、「4.4. リモートプリンタモードでの使用方法」をご覧ください。

4.1.3. NDS プリントサーバモードとして使用する場合

設定は Network Box 本体と NetWare のファイルサーバの設定を行う必要があります。

本体設定のデフォルト名に合わせ、NetWare の PCONSOLE でファイルサーバへの設定を行う必要があります。

SetupWizard の詳細については、「7.3. SetupWizard」をご覧ください。

また設定項目の詳細については、「4.6. NDS プリントサーバモードでの使用方法」をご覧ください。

4.1.4. 待機モードについて

NetWare を使用していない環境では、待機モードを指定してください。

【注意】 Network Box は、工場出荷時は待機モードで動作するように設定されています。

4.2. バインダリプリントサーバモードでの使用方法

Network Box をバインダリプリントサーバモードで使用するための設定手順について説明します。

- 1 . Network Box 本体の設定
- 2 . NetWare ファイルサーバへの登録

Network Box 本体の工場出荷時の設定を使用し、NetWare の PCONSOLE で「4.3.2.NetWare ファイルサーバの設定」を行います。

【注意】NetWare5 には PCONSOLE が付属されていないため、**SetupWizard を使用して設定を行う必要があります。NWADMIN32.EXE では、バインダリキューを作成できないため設定できません。**

NetWare への登録方法は、NetWare の操作マニュアルをご覧ください。

4.2.1 Network Box 本体の設定内容

Network Box を NetWare のバインダリプリントサーバモードで使用するための設定項目は次のようになります。

1	ファイルサーバ名	バインダリキューを登録する NetWare ファイルサーバ名
2	プリントサーバ名	バインダリプリントサーバモードでの NetWare ファイルサーバへの登録名
3	プリンタポート名	NetWare ファイルサーバに登録するプリンタ名
4	フレームタイプ	NetWare ファイルサーバが動作しているフレームタイプ

1 は必要な設定項目です。

2、3、4 は必要に応じて変更してください。

2、3 はデフォルトで LA*****、LA*****-P1 と設定されています。

4.2.2. NetWare ファイルサーバの設定

Network Box をバインダリプリントサーバモードで使用するための設定項目は次のようになります。

1	プリントサーバ	Network Box のプリントサーバ名と同じにします。
2	キュー	印刷データを格納するキュー
3	プリンタ	任意の名前

1、2、3 全て必要な項目です。

Network Box をバインダリプリントサーバとして使用する場合、ファイルサーバ上にプリント

サーバとキューを登録する必要があります。登録は NetWare のユーティリティ PCONSOLE.EXE を使用して設定します。PCONSOLE で設定する場合は NetWare の操作マニュアルをご覧ください。

【注意】PCONSOLE で設定する場合は、設定ユーティリティ等でバインダリキューを登録しログインするファイルサーバ名を Network Box 本体に NetWare File Server として登録する必要があります。

【注意】NetWare5 には PCONSOLE が付属されていないため、バインダリキューを作成しません。

4.3. リモートプリンタモードでの使用方法

Network Box をリモートプリンタモードで使用するためには、付属の SetupWizard で Network Box 本体とファイルサーバを設定します。SetupWizard での設定につきましては、「7.3. SetupWizard」をご覧ください。

本章では、Network Box がリモートプリンタモードに設定されているのを前提とし PCONSOLE を使用して Network Box をリモートプリンタとしてファイルサーバに設定する方法を説明します。

- 1 . Network Box 本体の設定
- 2 . NetWare ファイルサーバでプリントサーバを作成する
- 3 . NetWare ファイルサーバへの登録
- 4 . NetWare ファイルサーバでプリントサーバプログラムを起動する

本体の設定は、SetupWizard で「1 . Network Box 本体の設定」を行い、NetWare の PCONSOLE で「3 . NetWare ファイルサーバへの登録」を行います。

【参考】NetWare5 には PCONSOLE が付属されていないため、NWADMIN32.EXE を使用します。基本的な設定概念は PCONSOLE での設定と同じですので NWADMIN32.EXE で設定する方法につきましては NetWare5 のオンラインマニュアルをご覧ください。

4.3.1 Network Box 本体の設定内容

Network Box を NetWare のリモートプリンタモードで使用するための設定項目は次のようになります。

1	プリンタポート名	NetWare ファイルサーバに登録するプリンタ名
2	フレームタイプ	登録する Ethernet で使用するフレームタイプ
3	ネットウエア プリントサーバ	プリントサーバプログラムで起動するプリントサーバ名

1 , 3 は必要な設定項目です。

2 は必要に応じて設定してください。

【注意】本体の設定変更が必要な場合は、付属の SetupWizard を使用してください。

SetupWizard の詳細については「7.3. SetupWizard」をご覧ください。

4.3.2. NetWare ファイルサーバの設定

Network Box をリモートプリンタモードで使用するための設定項目は次のようになります。

1	プリントサーバ	プリントサーバプログラムで起動するプリントサーバ名
2	キュー	印刷データを格納するキュー
3	プリンタ	Network Box のプリンタポート名と同じ

1, 2, 3 は全て必要な項目です。

Network Box をリモートプリンタモードで動作させるために、NetWare ファイルサーバにプリントサーバアカウントを作成し、Network Box のリモートプリンタ情報を、NetWare のユーティリティ PCONSOLE.EXE を使用して設定します。ただし、Network Box を接続するプリントサーバアカウントがすでに作成されている場合は「プリントサーバアカウントの作成」は不要です。

PCONSOLE で設定する場合は「4.4.2.1. PCONSOLE での設定 (NetWare3.1xJ)」をご覧ください。

4.3.2.1. PCONSOLE での設定 (NetWare3.1xJ)

プリントキューの作成

1. NetWare のクライアントパソコンから登録したい NetWare ファイルサーバへスーパーバイザとしてログインします。
2. PCONSOLE.EXE を起動します。
3. “利用可能な項目”メニューから“プリントキュー情報”を指定します。
4. “プリントキュー”リストで<INSERT>キーを押し、“新プリントキュー名：”入力ボックスでキュー名を入力します。
5. “利用可能な項目”メニューに戻ります。

プリントサーバアカウントの作成

1. “利用可能な項目”メニューから“プリントサーバ情報”を指定します。
2. “プリントサーバ”リストで<INSERT>キーを押し、“新プリントサーバ名：”入力ボックスでプリントサーバ名を入力します。
3. 作成したプリントサーバアカウント(プリントサーバ名)を選び“プリントサーバ情報”メニューを表示します。
4. プリントサーバのパスワードを割り当てます。
“プリントサーバ情報”メニューから“パスワードの変更”を選びます。
パスワードを設定しない場合は「プリンタの定義」へ進みます。
5. “新しいパスワード：”入力ボックスで設定するパスワードを入力します。

6. “新パスワード再入力：”入力ボックスで同じパスワードをもう一度入力します。

プリンタの定義

1. “プリントサーバ情報”メニューから“プリントサーバ構成”を選びます。
2. “プリントサーバ構成メニュー”から“プリンタの構成”を選びます。
3. “構成完了プリンタ”リストでインストールされていないプリンタ番号を選び、“プリンタ<プリンタ番号>の構成”ウィンドウに入力します。
4. “名前”には「4.4.1. Network Box 本体の設定内容」のプリントポート名を入力します。
5. “タイプ”では<Enter>キーを押し、“プリンタタイプ”リストから“リモートパラレル，LPT1”を選びます。
6. “タイプ”を選ぶとオプションには自動的にデフォルト設定が入力されます。デフォルト設定を変更する必要がある場合には、NetWare の PCONSOLE.EXE に関するマニュアルをご覧ください。
7. “プリンタ<プリンタ番号>の構成”ウィンドウで<ESCAPE>キーを押し、“変更を保存しますか？”という確認ボックスで“Yes”を選び変更した結果を保存します。
“構成完了プリンタ”リストに戻ります。
8. “構成完了プリンタ”リストで<ESCAPE>キーを押して“プリントサーバ構成メニュー”に戻ります。

プリンタへのキューの割り当て

定義したプリンタにキューを割り当てると、プリンタはキューを処理することができるようになります。

1. “プリントサーバ構成メニュー”から“プリンタでサービスされているキュー”を選びます。
2. “定義済みのプリンタ”リストで「プリンタの定義」で定義したプリンタを選びます。
3. “ファイルサーバ/キュー/優先順位”リストで<INSERT>キーを押すと、“使用可能キュー”リストを表示します。
4. このプリンタで処理するキュー（「プリントキューの作成」で作成したキュー）を指定し、“優先順位：”入力ボックスで1～10の範囲でキューの優先順位を指定します。このプリンタに他のキューを割り当てるには3.～4.を繰り返します。
5. PCONSOLE.EXE を終了します。

【例】プリンタ 0 の設定

プリンタ 0 の構成	
名前 :	Network Box - P 1
タイプ :	リモートパラレル, L P T 1
社別識別子 :	
IRQ :	7
バッファサイズ (Kバイト) :	3
開始用紙 :	0
キューサービスモード :	必要に応じた用紙の変更可
ボーレート :	
データビット :	
ストップビット :	
パリティ :	
X - O n / X - O f f 使用有無 :	

4.3.2.2. PCONSOLE での設定 (NetWare4.1xJ 以上)

【参考】NetWare5 には PCONSOLE が付属されていないため、NWADMIN32.EXE を使用します。基本的な設定概念は PCONSOLE での設定と同じですので NWADMIN32.EXE で設定する方法につきましては NetWare5 のオンラインマニュアルをご覧ください。

ディレクトリ サービス モードにて、プリントキューの作成、プリントサーバアカウントの作成、プリンタの定義を設定ください。

各項目の作成・設定は、「4.3.2.1. PCONSOLE での設定 (NetWare3.1xJ)」を参照下さい

【注意】バインダリモードでは作成しないで下さい、リモートプリンタとして起動されません。

リモートプリンタを制御するプリントサーバの稼働

NetWare ファイルサーバあるいはネットワーク上の DOS ワークステーションから、ノベル社製 NetWare プリントサーバ (前項まで設定していたもの) を稼働させます。

プリントサーバの設定が終了したらファイルサーバのコンソール画面でプリントサーバを起動します。

:LOAD PSERVER <プリントサーバ名>

<プリントサーバ名> は NetWare ファイルサーバに設定したプリントサーバ名を使用します。

【注意】Network Box 本体に NetWare プリントサーバ名を予め設定しておく必要があります。

NetWare のプリントサーバモジュールは複数のプリンタをコントロールできますので Network Box をリモートプリンタとして複数台登録できます。

【注意】プリントサーバプログラムが稼働中の場合は、一度終了し、再度立ち上げ直してください。

4.4. NDS プリントサーバモードでの使用方法

Network Box を NDS プリントサーバモードで使用するための設定手順について説明します。

- 1 . Network Box 本体の設定
- 2 . NetWare ファイルサーバへの登録

SetupWizard を使用すると、1 , 2 を同時に設定できます。SetupWizard の詳細については、「7.3. SetupWizard」をご覧ください。

【注意】NetWare 付属の PCONSOLE 又は NWADMIN32 で「4.6.2.NetWare ファイルサーバの設定」を行います。

4.4.1 Network Box 本体の設定内容

Network Box を NetWare の NDS プリントサーバモードで使用するための設定項目は次のようになります。

1	NDS ツリー名	ログインするツリー名
2	NDS コンテキスト名	NDS プリントサーバを登録するコンテキスト名
3	プリントサーバ名	NDS プリントサーバモードで KP-602E がツリーにログインするプリントサーバ名
4	プリンタポート名	NDS プリントサーバモードでツリーに登録したプリンタ名

- 1、2 は必要な設定項目です。
- 3、4 は必要に応じて変更してください。
- 3、4 はデフォルトで LA*****、LA*****-P1 と設定されています。

4.4.2. NetWare ファイルサーバの設定

Network Box を NDS プリントサーバモードで使用するための設定項目は次のようになります。

1	プリントサーバ	Network Box に設定されているプリントサーバ名と同じにします。
2	キュー	印刷データを格納するキュー
3	プリンタ	任意の名前
4	コンテキスト	プリントサーバを登録するコンテキスト

1 , 2 , 3 , 4 全て必要な項目です。

Network Box を NDS プリントサーバとして使用する場合、ファイルサーバ上にプリントサーバとキューを登録する必要があります。

NetWare のユーティリティ PCONSOLE 又は NWADMIN32 を使用して設定します。PCONSOLE 又は NWADMIN32 で設定する場合は NetWare の操作マニュアルをご覧ください。

第 5 章 LANManager (TCP/IP・NetBEUI)

この章では、プリントサーバ Network Box の LANManager 環境での設定手順について説明します。

Network Box は、Windows3.1/95/98/Me/NT の LANManager ネットワーク環境でネットワークプリントサーバとして使用できます。

LANManager は、その下位のプロトコルとして TCP/IP、NetBEUI、IPX/SPX などが選択できます。Network Box はこのうち TCP/IP と NetBEUI に対応しています。

【注意】 Windows95/98/Me/NT では OS パッケージに標準で付属する機能で使用できます。Windows3.1 では別途 LANManager クライアントソフトウェアが必要です。また、Windows3.1 から印刷する場合は、WindowsNT に印刷ジョブを中継させてください。

5.1. 概要

Network Box を LANManager で使用するには、Network Box 本体の設定とクライアントの Windows の設定を行います。

5.1.1. Network Box 本体の設定

Network Box を LANManager で使用するには次の設定が必要です。

ホスト名 (半角英数字 15 文字以内)

ネットワーク上での Network Box の名称を指定してください。他の機器と同じ名前を使用することはできません。必ず固有の名前を指定してください。

ドメイン名 (半角英数字 15 文字以内)

ドメイン管理をしていない場合は指定する必要がありません。

Windows95/98/Me/NT でドメイン管理をしている場合は、使用するドメイン名またはワークグループ名を指定してください。

タイムサーバ名 (半角英数字 15 文字以内)

Network Box に設定したドメインのドメインコントローラを指定してください (TCP/IP 使用時のみ)。タイムサーバ名を設定しなくても印刷には影響しませんが、プリントジョブ情報の時間が正しく表示されません。

WindowsNT 3.5x/4.0 Server を使用していない場合やドメインの設定をしない場合は、このタイムサーバ名は無効です。

【注意】ホスト名、ドメイン/ワークグループ名、タイムサーバ名は、下記の半角記号は入力禁止文字なので、使用しないでください。

" (ダブルクォーテーション) = (イコール) | (パイプ) ¥ (円マーク) + (プラス)
; (セミコロン) * (アスタリスク) : (コロン)] (大カッコ右) [(大カッコ左)
, (カンマ) < (不等号大なり) > (不等号小なり) ? (クエスチョンマーク)

プロトコル選択

LANManager で使用するプロトコル (TCP/IP 又は NetBEUI) を選択します。

WINS の使用可否

WINS を使用する場合に、Enable にしてください。

WINS をサポートしている環境では、WINS を有効にすることで Network Box が起動時に WINS データベースにホスト名とその IP アドレスが自動的に登録され、ネットワーク内での名前の重複をさけることを可能にします。

【注意】NetBEUI では、WINS を使用できません。WINS を使用する場合には、下位プロトコルは TCP/IP を選択してください。

ネットワーク上に WINS サーバが存在しない場合は、有効にする必要はありません。

ルータを越えた印刷を行う場合には、ゲートウェイアドレスとサブネットマスクを正しく設定する必要があります。

WINS を使用する場合には、WINS サーバの IP アドレスを設定する必要があります。

【注意】DHCP を使用して WINS サーバの IP アドレスを取得する場合は設定する必要はありません。(この場合には、DHCP を有効にする必要があります)

ただし、DHCP が有効であるにも関わらず、WINS サーバの IP アドレスを取得できない場合があります。この場合は、WINS サーバの IP アドレスを直接設定する必要があります。

LANManager の使用可否

LANManager を使用する設定にします。

以上の項目を設定するには、付属の Windows 用設定ユーティリティあるいは、telnet, ブラウザ等を使用します。設定の方法は「第 6 章 設定ユーティリティの使用方法」をご覧ください。工場設定時には全てデフォルトの値が設定されています。

【例】Network Box のデフォルト名は本体の背面に記載されている 8 桁の英数字 (LAxxxxxx) です。例えば、デフォルト名が LA001234 であった場合、LANManager の各設定項目のデフォルト値は次のようになります。

ホスト名 : LA001234
ドメイン名 : <NOT SET>

タイムサーバ名	: <NOT SET>
プロトコル	: NetBEUI
WINS	: DISABLE
WINS SERVER IP ADDRESS	: 255.255.255.255
LANManager	: ENABLE

【注意】NetBEUI を使用する場合は Network Box 本体の設定項目を変更するには、NetWare、TCP/IP のいずれかの環境が必要です。

5.1.2. Windows95/98/Me での使用方法

1. 「スタート」メニューから「設定」の中の「コントロールパネル」を開きます。
2. 「ネットワーク」を選択します。
次の2つの項目が表示されていることを確認してください。項目が表示されない場合は、「追加」を選択してインストールしてください。

Microsoft ネットワーククライアント
TCP/IP を使用する場合は TCP/IP->LAN アダプタ名
NetBEUI を使用する場合は NetBEUI->LAN アダプタ名

3. 「使用するプロトコル->LAN アダプタ名」を選択します。
4. TCP/IP を使用する場合は「プロパティ」を選択します。「IP アドレス」のタブを選択し、IP アドレスとサブネットマスクが正しく設定されているか確認してください。

【注意】サブネットマスクは Network Box の設定と同じであることを確認してください。
「IP アドレスを自動的に取得」をチェックしている場合は DHCP サーバが必要です。
「WINS の解決をする」をチェックしている場合は、WINS サーバが必要です。

5. 次に、「バインド」を選択し、「Microsoft ネットワーククライアント」がチェックされていることを確認してください。チェックされていない場合は、チェックしてください。
6. 「OK」を選択すると「ネットワーク」に画面が戻ります。さらに [OK] を選択すると、設定を変更していない場合は「コントロールパネル」に画面が戻りますので次に進んでください。設定を変更した場合は、Windows95/98/Me を再起動するかどうかの選択画面が現れますので再起動してください。
7. 「スタート」メニューから「設定」の中の「プリンタ」を開きます。

8. 「プリンタの追加」を選択するとプリンタウィザードが起動します。

9. 「次へ」を選択し「ネットワークプリンタ」をチェックします。

10. 「次へ」を選択し、ネットワークパスを入力します。

ネットワークパスは「¥¥ホスト名¥¥プリンタ名」の形式になります。Network Box と Windows95/98/Me マシンに同じドメインまたはワークグループを設定してある場合は、「参照」をクリックするとネットワーク上の Network Box を参照できるので、表示されるリストから選択できます。

WINS を使用すると、ルータを越えたネットワーク上の Network Box を参照することができます。その際には、WINS サーバの IP アドレスを設定する必要があります。

また、DHCP を使用して WINS サーバの IP アドレスを取得する場合には、WINS サーバの IP アドレスを設定する必要はありません。

参照できない場合は直接入力してください。プリンタ名として指定できるのは、「LA-LPT1」です。

【例】ホスト名「LA001234」の場合

¥¥LA001234¥¥LA-LPT1

【注意】ネットワーク上に WINS サーバが存在し、WINS をサポートしている必要があります。ルータを越えた印刷を行う場合には、サブネットマスクとゲートウェイアドレスを正しく設定する必要があります。WINS を使用する場合には、下位プロトコルは TCP/IP を選択してください。

【注意】NetBEUI を使用する場合、工場出荷時では、Network Box を参照することはできません。

【注意】ネットワークパスを直接入力した場合、プリンタ作成後にプリンタがオフライン作業になっていますのでクリアしてください。

(プリンタアイコンを右クリックして確認できます)

11. 「次へ」を選択します。

このとき、指定した Network Box の電源が入っていなかったり、プリンタが印刷可能でなかったりすると警告が表示されます。プリンタの作成には支障ありませんので、Network Box のホスト名とプリンタ名が正しいかどうかを確認して「次へ」を選択してください。プリンタ製造元とプリンタを選択します。

12. 「次へ」を選択し、次画面に進み、プリンタ名を入力します。ここで入力するプリンタ名は自由に設定できますので、ユニークな名前を入力してください。

13. 「次へ」を選択し、次画面に進むと、テスト印刷の画面になります。

【注意】Network Box にプリンタを接続していないと、テスト印刷ができないため「次へ」の部分が「完了」と表示されますのでクリックしてください。

14. ここでテスト印刷する時は「はい」をチェックします。プリンタ作成後でもテスト印刷できますので、テスト印刷をしない時は「いいえ」をチェックします。
15. 「完了」を選択すると、プリンタが作成されます。

以上で、Windows95/98/Me の設定は完了です。アプリケーションから印刷すると、ネットワーク上の Network Box に接続されたプリンタから印刷できます。

5.1.3. Windows3.1 での使用方法

Windows3.1 は、標準ではネットワークをサポートしていません。別途 LANManager クライアントソフトウェアが必要となります。LANManager クライアントソフトウェアは、マイクロソフト LANManager2.1x または 100%互換製品をご使用ください。マイクロソフト LANManager2.1x クライアントソフトウェアは、WindowsNT3.5x/4.0 Server のパッケージに含まれるものが利用できます。

【注意】WindowsNT Server のパッケージに含まれるクライアントソフトウェアを使用するには、別途クライアントライセンスが必要です。また、Windows3.1 から Network Box を使用するには、別途 WindowsNT が動作している PC が必要です。

LANManager クライアントソフトウェアは、インストール時にいくつかのプロトコルを選択できます。WindowsNT との通信には、TCP/IP プロトコル又は、NetBEUI プロトコルを選択してください。

1. WindowsNT の PC を「3.2.3. WindowsNT3.51 の設定」もしくは「3.2.4. WindowsNT4.0 の設定」を参照し、Network Box から印刷できるように設定します。
2. WindowsNT の PC で、Network Box に接続したプリンタを共有プリンタとして、ネットワーク上の他の PC から使用できるようにします。WindowsNT における共有プリンタの設定方法については「3.2.6. WindowsNT のプリンタをネットワークで共有する場合」をご覧ください。
3. プリンタの接続は、Windows3.1 の PC でクライアントソフトウェアを起動した後に行います。WindowsNT の PC で共有プリンタの設定をしたプリンタを、ネットワークプリンタとして接続します。

ネットワークプリンタの接続方法は、ご使用の LANManager クライアントソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

5.1.4. WindowsNT4.0 での使用方法

1. 「スタート」メニューから「設定」の中の「コントロールパネル」を開きます。
2. ネットワークを選択します。
以下の項目が組み込まれていることを確認してください。組み込まれていないものがあれば組み込んでください。

「アダプタ」タブを選択し、LAN アダプタが組み込まれていることを確認します。
「プロトコル」タブを選択し、TCP/IP を使用する場合は「TCP/IP プロトコル」、NetBEUI を使用する場合は「NetBEUI プロトコル」が組み込まれていることを確認します。
「サービス」タブを選択し、「コンピュータブラウザ」、「サーバ」、「ワークステーション」が組み込まれていることを確認します。
3. TCP/IP を使用する場合は「プロトコル」タブの中の TCP/IP プロトコルを選択し、「プロパティ」を選択します。「IP アドレス」のタブを選択し、IP アドレスとサブネットマスクが正しく設定されているか確認します。
【注意】サブネットマスクは Network Box の設定と同じにしてください。
「IP アドレスを自動的に取得」をチェックしている場合は DHCP サーバが必要です。
「WINS の解決をする」をチェックしている場合は、WINS サーバが必要です。
4. 次に、ネットワーク画面の「バインド」タブを選択し、「サーバ」、「ワークステーション」のサービスが有効となっていることを確認します。
5. すべての設定確認が完了したら「OK」をクリックします。設定変更がある場合は WindowsNT4.0 を再起動するかどうかの選択画面が現れますので再起動してください。
6. 「スタート」メニューから「設定」の中の「プリンタ」を選択します。
そこで、「プリンタの追加」をダブルクリックしプリンタウィザードを起動します。
7. 「次へ」を選択し、「ネットワークプリンタサーバ」をチェックします。
8. 「次へ」を選択し、ネットワークパスを入力します。
ネットワークパスは「*ホスト名*プリンタ名」の形式になります。Network Box と WindowsNT マシンに同じドメインまたはワークグループを設定してある場合は、「参照」をクリックする

とネットワーク上の Network Box を参照できるので、表示されるリストから選択できます。
 WINS を使用すると、ルータを越えたネットワーク上の Network Box を参照することができます。
 その際には、WINS サーバの IP アドレスを設定する必要があります。
 また、DHCP を使用して WINS サーバの IP アドレスを取得する場合には、WINS サーバの IP アドレスを設定する必要はありません。
 参照できない場合は直接入力してください。プリンタ名として指定できるのは、「LA-LPT1」です。

【例】ホスト名「LA001234」の場合

¥¥LA001234¥¥LA-LPT1

【注意】 ネットワーク上に WINS サーバが存在し、WINS をサポートしている必要があります。ルータを越えた印刷を行う場合には、サブネットマスクとゲートウェイアドレスを正しく設定する必要があります。WINS を使用する場合には、下位プロトコルは TCP/IP を選択してください。

【注意】 クライアントと Network Box のドメイン名もしくはワークグループ名が異なると参照することはできません。

【注意】 ネットワークパスを直接入力した場合、プリンタ作成後にプリンタがオフライン作業になっていますのでクリアしてください。
 (プリンタアイコンを右クリックして確認できます)

9. 「次へ」を選択し、次の画面に進みます。

このとき、指定した Network Box の電源が入っていなかったり、プリンタが印刷可能でなかったりすると警告が表示されます。プリンタの作成には支障ありませんので、Network Box のホスト名とプリンタ名が正しいかどうかを確認して「次へ」を選択してください。プリンタ製造元とプリンタを選択します。接続されているプリンタが見つからない場合は、プリンタに付属のドライバをご使用ください。

【注意】 プリンタドライバのインストール方法はプリンタのマニュアルをご覧ください。

10. プリンタ名を入力する画面では、判別しやすい名前を入力します。

(WindowsNT4.0 上でのプリンタ名になります。)

11. 続いて、テスト印刷の画面でテスト印刷をする時は「はい」をチェックします。プリンタ作成後でもテスト印刷できますので、テスト印刷をしない時は「いいえ」をチェックします。

12. 「完了」を選択すると、プリンタが作成されます。

以上で、WindowsNT4.0 の設定は完了です。アプリケーションから印刷すると、ネットワーク上の Network Box に接続されたプリンタから印刷できます。

5.1.5. OS/2 での使用方法

1. デスクトップ上、もしくは OS/2 システムの中のテンプレートフォルダを開きます。
2. 「プリンタ」テンプレートをマウスの右ボタンを使用してデスクトップ上にドラッグ&ドロップします。
3. 「プリンタの作成」の「名前」に作成したいプリンタの名前を入力します。
4. 「プリンター・ドライバ」を選択し、使用するプリンタドライバを選択します。
5. 「出力」を選択し、リダイレクトするポート“LPT1”を選択します。
6. 「作成」をクリックします。
7. OS/2 コマンドプロンプトから以下のように入力してください。

【例】ホスト名「LA001234」に OS/2 の LPT1 をリダイレクトする場合

```
NET USE LPT1: \\LA001234\LA-LPT1
```

8. 作成したプリンタを開き、「設定」を選択してください。
9. 「待ち行列オプション」の設定で、「プリンタ固有の形式」をチェックしてください。これにより、印刷データの転送速度が早くなります。

以上で、OS/2 の設定は完了です。アプリケーションから印刷すると、ネットワーク上の Network Box に接続されたプリンタから印刷できます。

【注意】OS 2 でご使用になられる場合

OS 2 でご使用になる場合は、最大で 6 台のクライアントまで同時使用できます。

5.2. LANManager で使用する場合の注意点

1. TCP/IP で LANManager を使用する場合、サブネットマスクを正しく設定していないと、

Network Box に接続できなかつたり、Network Box のサポートしているプリンタが見えなかつたりする場合があります。

【対策】

Network Box とクライアント PC のサブネットマスクを同じ数値に設定してください。

- 2 . Windows のプリントマネージャで Network Box に接続したプリンタのステータスを確認できます。ただし、他のクライアントがこの Network Box に LANManager で印刷していたり、状態を取得している時は、ステータスを確認できません。またステータスを確認している時は、この Network Box に LANManager で印刷ができません。また LANManager の仕様により同時印刷を行うと、エラーになり、印刷できません。

【対策】

他のクライアントのアクセスが終了するまでお待ちください。

- 3 . Network Box のホスト名を変更した時に、Network Box を再起動した後も変更前のホスト名が参照できることがあります。

【対策】

ドメインコントローラに古い情報が残った状態です。特に障害はありません。しばらくすると、情報が更新されて古い情報は消えます。

- 4 . プリンタがオフライン・紙切れ・紙詰まりなどの場合、Windows95/98/Me/NT にエラーが表示される場合があります。この場合、ジョブがキャンセルされることがあります。

【対策】

プリンタトラブルを解消後、再度印刷を実行してください。

- 5 . Windows3.1 の LANManager からは直接 Network Box に印刷データを送れません。

【対策】

WindowsNT から印刷できるように設定し、WindowsNT のプリンタ共有機能を利用して、Windows3.1 から印刷してください。

- 6 . Network Box の電源投入時やりセット時、他のクライアントの印刷中などに、Windows95/98/Me のプリントマネージャに状態不明と表示される場合があります。

【対策】

Network Box とプリンタがレディ状態であることを確認し、Windows95/98/Me のプリントマネージャで状態更新をしてください。

- 7 . 印刷中や状態取得中など、Network Box との通信中にクライアント PC がダウンした場合、Network Box から印刷できなくなることがあります。

【対策】

Network Box の電源を入れ直してください。

- 8 . WINS を使用する場合に、ルータを越えた先の Network Box に接続できない場合があります。

【対策】

Network Box とクライアント PC のゲートウェイアドレスを同じ数値に設定してください。クライアント PC を「WINS の解決をする」にチェックを入れて WINS サーバの IP アドレスを設定してください。Network Box に WINS サーバの IP アドレスが正しく設定されているかどうかを確認ください。WINS サーバが正しく動作しているかどうかを確認ください

第6章 設定ユーティリティの使用法

この章では、プリントサーバ Network Box の動作環境を設定するためのユーティリティの使用法について説明します。

Network Box を設定するために使用するユーティリティは、Network Box 付属の CD-ROM「Network Box SERIES PROGRAM MANUAL」に含まれています。CD-ROM「Network Box SERIES PROGRAM MANUAL」を CD-ROM トレイに挿入すると自動的に Autorun が起動しますので、メニューから Network Box を指定して順次メニューの指示に従ってインストールや設定を行ってください。なお、本マニュアル内には、ユーティリティ毎にプログラムが含まれているフォルダ名を記載していますので、必要に応じて参照願います。

【注意】CD-ROM「Network Box SERIES PROGRAM MANUAL」に同梱されているユーティリティは、改良のために予告無く変更することがあります。

Network Box の動作環境の設定は以下のユーティリティで行えます。

1 . ブラウザ (Netscape など)

3 . telnet (UNIX 標準コマンド)

【注意】ブラウザや telnet でご使用になる場合は、予め Network Box に IP アドレスを設定しておく必要があります。

【参考】Windows95/98/Me/NT/2000、OS/2 でも DOS プロンプトから telnet が使用できます。

4 . Wip_set (Network Box に付属の IP アドレス設定ユーティリティ)

これらの設定ユーティリティを使用することによって次の設定が行えます。

TCP/IP の設定

IP アドレス、サブネットマスク、デフォルト・ゲートウェイ、RARP、BOOTP、DHCP、ARP+PING、SNMP の設定が行えます。TCP/IP 環境での設定については「第3章 TCP/IP」をご覧ください。

NetWare の設定

プリントサーバ名、プリンタポート名、社別識別子、デフォルトサーバ、デフォルト・イーサネット・フレームタイプ等の設定が行えます。

NetWare 環境での設定については「第4章 NetWare」をご覧ください。

LANManager の設定

ホスト名、ドメイン名、タイムサーバ名、プロトコル選択(TCP/IP、NetBEUI)、WINS、WINS SERVER IP ADDRESS の設定が行えます。LANManager の設定については、「第5章 LANManager」をご覧ください。

ください。

Hardware の設定

SUPPORT PARALLEL MODE、PARARELL PORT SPEED、BOOT DELAY、JETADMIN の設定が行えます。

その他

Network Box 本体内蔵の FLASH ROM と BOOT ROM のファームウェア・バージョン情報の表示、エラー情報表示/クリア、Network Box 本体のハードウェアリセット、バージョンアップ等の操作が行えます。

設定ユーティリティ動作環境 表 6 - 1

	使用環境 (OS)	条件・備考
Telnet	UNIX WS Windows95/98/Me/NT3.51/NT4.0/2000 Windows3.1+TCP/IP OS/2	TCP/IP プロトコルが使用できる環境が必要

第6章 設定ユーティリティの使用方法

Network Box の工場出荷時の設定は以下の通りになります。

表 6 - 2

メニュー	サブメニュー	工場出荷設定値	設定有効 タイミング
TCP/IP	IP ADDRESS SUBNET MASK DEFAULT ROUTER	100.100.100.100 255.255.255.255 255.255.255.255	ARP+PING,WIP_ SET は設定直後有効,その他は RESET 後有効
	RARP BOOTP DHCP ARP+PING SNMP	Enabled disabled disabled Enabled public,public,public	SNMP は設定直後有効、その他は RESET 後有効
EtherTalk	PRINTER ZONE TYPE OBJECT ENABLE/DISABLE PS Binary	Undefined NOT SET(default zone) PS printer LAN_A_xxxxxx.LPT1 Enabled Disable	RESET 後有効
NetWare	NetWare MODE NDS TREENAME NDS CONTEXT NAME NetWare PRINT SERVER NetWareFILE SERVER PRINT SERVER NAME LPT1 PORT NAME LPT1 COMPANY CODE DEFAULT FRAME TYPE ENABLE/DISABLE	StandbyMode Not Set Not Set None None Lxxxxxxx Lxxxxxxx-P1 NOT SET ETHERNET 802.2 Enabled	RESET 後有効
LANManager	HOST NAME WORKGROUP NAME TIME SERVER NAME PROTOCOL WINS WINS SERVER IP ADDRESS ENABLE/DISABLE	Lxxxxxxx NOT SET NOT SET NetBEUI Disable 255.255.255.255 Enabled	RESET 後有効
PASSWORD		pass (半角小大文字)	設定直後有効
Hardware	ETHERNET MODE PARALLEL PORT SPEED	AUTO(Half Duplex) Fast	RESET 後に有効
	BOOT DELAY	0 sec	電源再投入後
	JETADMIN	disabled	RESET 後有効
	SUPPORT PARALLEL MODE	AUTO	電源再投入後
	ERROR STATUS	0x40 0x41 0x42 0x43 0x44 0x45	FF FF FF FF FF FF

6.1. ブラウザ

ブラウザを起動し、接続先のアドレスに Network Box に設定した IP アドレスを入力して接続します。

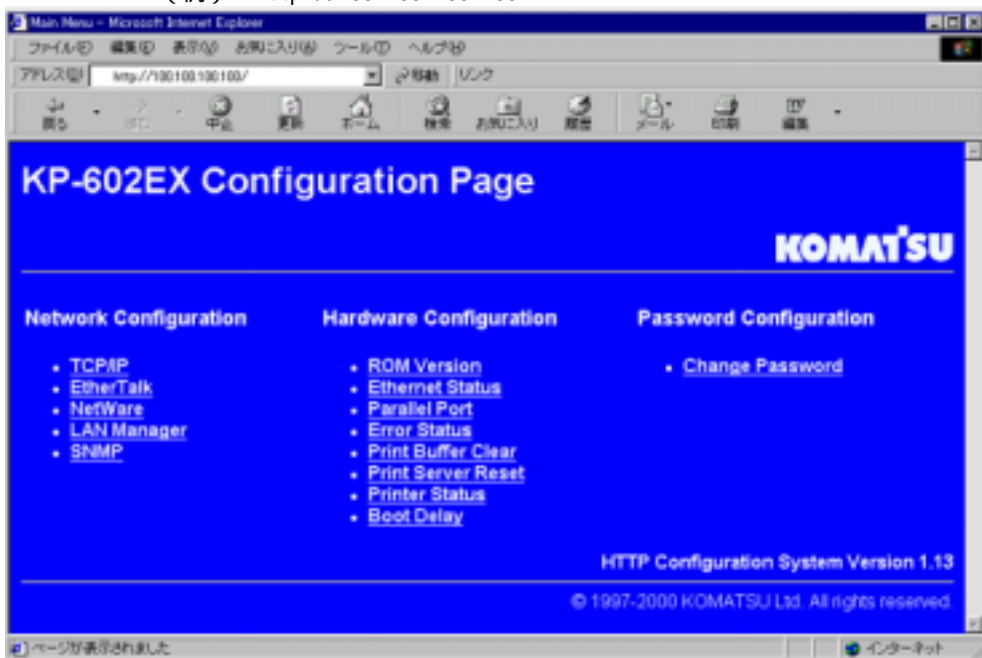
【注意】対応ブラウザ

Netscape Navigator 3.0 以降 / インターネットエクスプローラ 3.0 以降

【注意】ブラウザでご使用になる場合は、予め Network Box に IP アドレスを設定しておく必要があります。

ネットワーク上に、入力した IP アドレスを持つ Network Box が存在している場合、次のような画面が表示されます。

(例) <http://100.100.100.100>



この画面では Network Configuration、Hardware Configuration、Password Configuration を行うことができます。

1) NetWork Configuration :

TCP/IP / NetWare / LANManager / SNMP で Network Box を使用する場合は設定の確認と変更

を行います。

確認や変更を行いたいプロトコルをクリックします。

TCP/IP :

TCP/IP で通信するために必要な IP アドレスなどの設定値を確認および変更する場合にクリックします。

NetWare :

NetWare (IPX/SPX) で通信するために必要なプリントサーバ名などの設定値を確認および変更する場合にクリックします。

LANManager :

LANManager で通信するために必要な下位層プロトコル (TCP/IP、NetBEUI) の設定値を確認および変更する場合にクリックします。

SNMP :

SNMP で通信するために必要なコミュニティ名の設定値を確認及び変更する場合にクリックします。

2) HardWare Configuration :

Network Box の Hardware に関する設定の確認と変更を行います。

ROM Version :

Network Box の現在インストールされているプログラムのバージョンを確認できます。

Ethernet Status :

Network Box のイーサネットアドレス (MAC アドレス) を確認できます。

Parallel Port :

Network Box の電源 ON 時に、接続されているプリンタとのネゴシエーションを行うためのモードの設定変更ができます。

【注意】 NIBBLE MODE 固定の場合は、プリンタの設定が一致していない場合はネゴシエーションエラーとなり印刷できません。

Network Box のパラレルポートの現在のモードの確認とスピード設定の変更ができます。

Error Status :

Network Box に過去に発生したエラーの履歴を確認することができます。

Print Buffer Clear :

Network Box のバッファ内のデータを削除します。

Print Server Reset :

Network Box の電源リセットを行います。

Printer Status :

Network Box の現在のステータスを表示します。

Boot Delay :

Network Box の起動時の遅延時間の確認と変更を行います。

3) Password Configuration :

TCP/IP で Network Box にログインする時の Password の変更を行います。

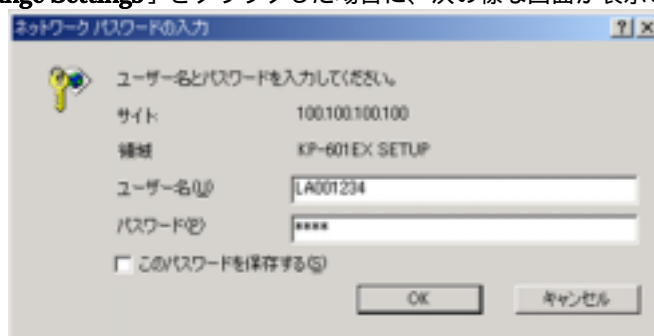
6.1.1. 設定を変更する場合

設定変更を行う場合は、Network Box にログインする必要があります。

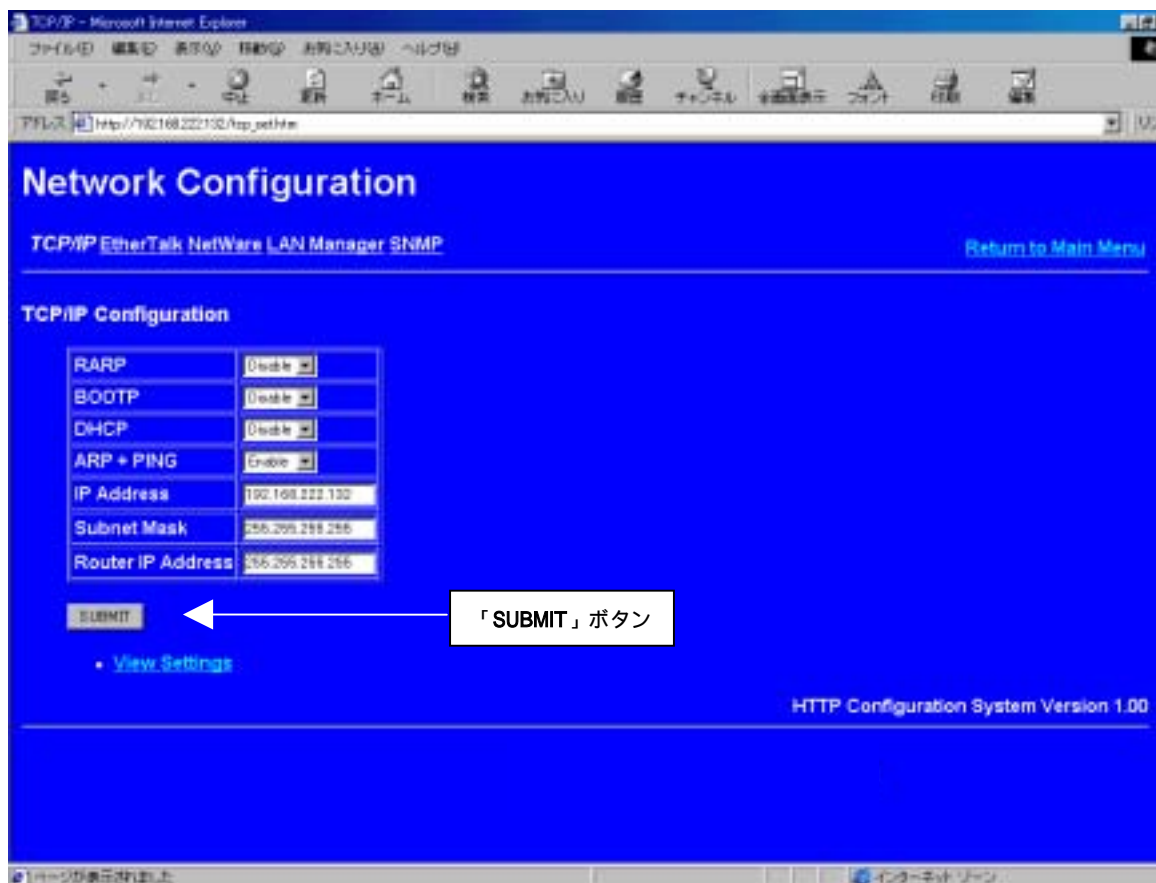


【注意】ここでは、TCP/IP を例として取り上げています。

各項目で「**Change Settings**」をクリックした場合に、次の様な画面が表示されます。



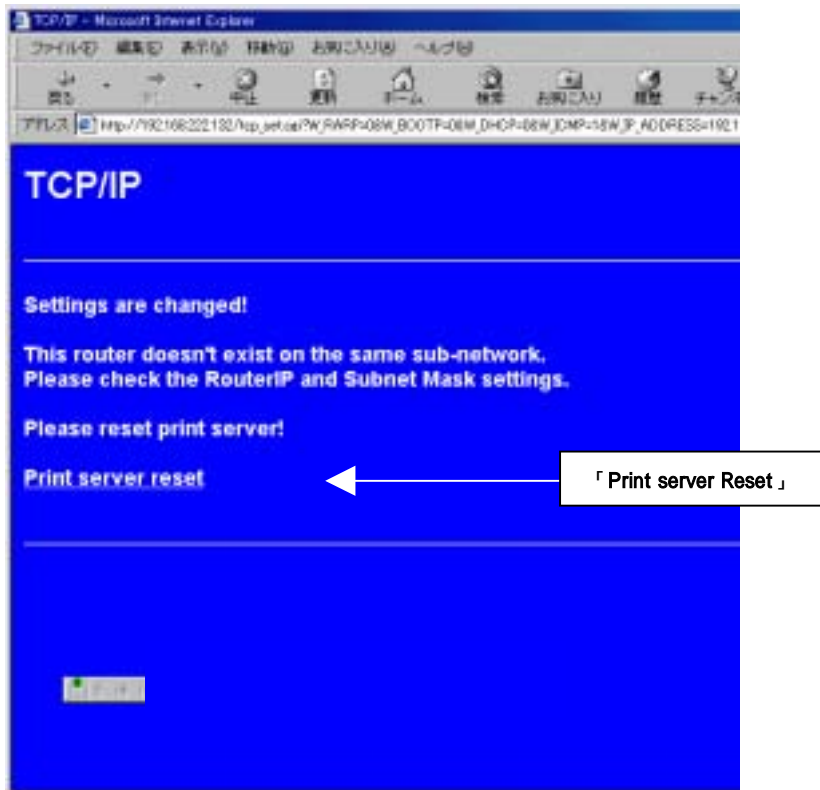
ユーザ名は、任意の文字を入力します。(入力しなくてもOKです) パスワードは、先の Password Configuration で変更していない場合は、半角小文字で「pass」を入力します。パスワードを変更している場合は、変更されたパスワードを入力します。



パスワード入力を終わると、次の様な設定を変更できる画面に移ります。

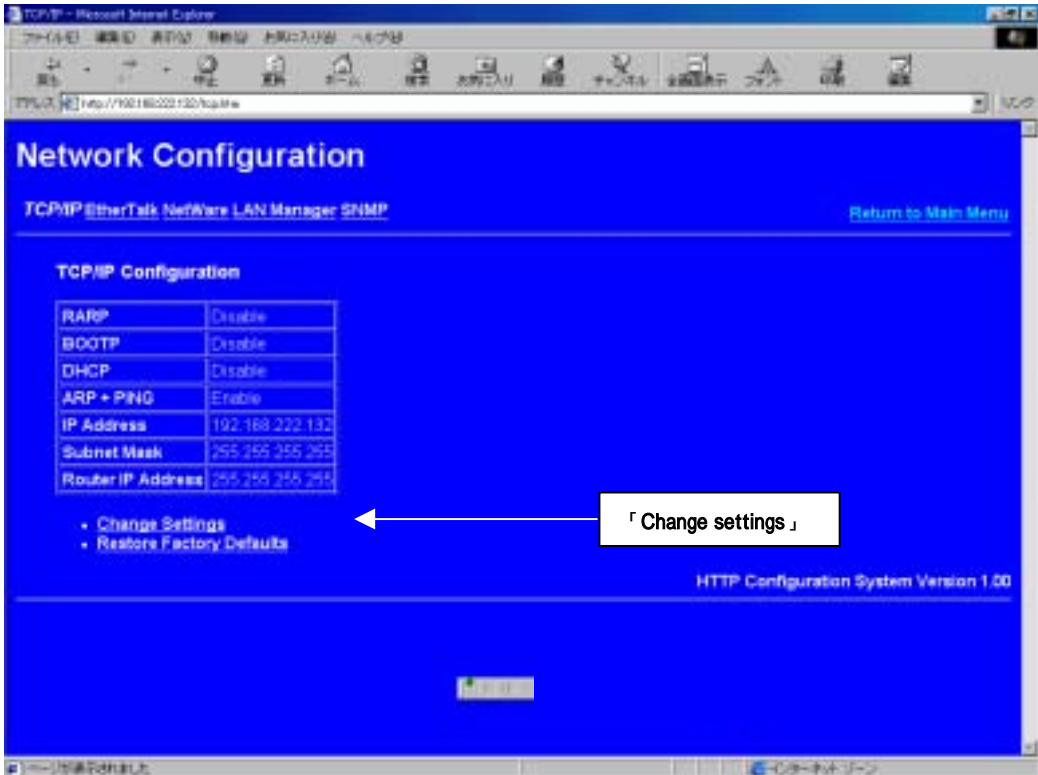
設定を変更し、正しければ「SUBMIT」ボタンをクリックします。

設定終了後、変更を有効にするために「Print server reset」をクリックしてください。



6.1.2. TCP/IP

Network Box を TCP/IP 環境下で使用するための現在の設定が表示されます。



Change Settings :

Network Box の TCP/IP 環境の設定を変更することができます。

項目	内容
RARP	ご使用になる環境に合わせて使用する / しないを選択します。 (Enable/Disable)
BOOTP	ご使用になる環境に合わせて使用する / しないを選択します。 (Enable/Disable)
DHCP	ご使用になる環境に合わせて使用する / しないを選択します。 (Enable/Disable)
ARP + PING	ARP + PING による IP アドレスの変更の有効 / 無効を選択します。 (Enable/Disable)
IP Address	Network Box に割り当てる IP アドレスを入力します。
Subnet Mask	ご使用になる環境にサブネットマスクが設定されている場合は、同一の マスクを入力する必要があります。
Router IP Address	ご使用になる環境にルータが存在する場合には、ルータの IP アドレス を入力する必要があります。
SUBMIT	データ入力終了後、クリックします。

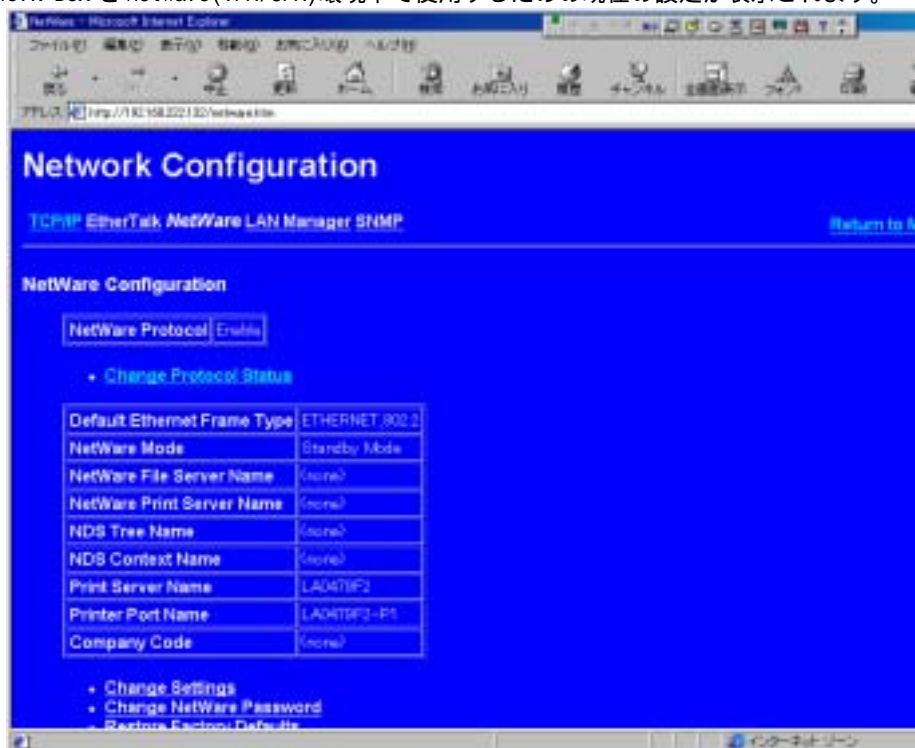
Restore Factory Default :

Network Box の TCP/IP 環境の設定を工場出荷時に戻します。

【注意】 IP アドレスのみ、現在の設定が有効ですので IP アドレスは手入力での IP アドレスを
100.100.100.100 に変更する必要があります。

6.1.3. NetWare

Network Box を NetWare(IPX/SPX)環境下で使用するための現在の設定が表示されます。



Change Protocol Status:

NetWare の環境下で Network Box を使用する / しないを設定できます。(Enable/Disable)

【注意】 デフォルトでは NetWare を使用する設定になっています。 NetWare を使用しない場合は、ネットワーク上に無駄なパケットを送信しないように、 Disable にすることをお勧めします。

Change Settings:

Network Box の NetWare 環境の設定を変更することができます。

項目	内容
Default Ethernet Frame Type	Network Box を使用するネットワークのイーサネットフレームタイプを設定できます。
NetWare Mode	Network Box の Print Server Mode / Remote Printer Mode / NDS Print Server Mode / Standby Mode が設定

	できます。
NetWare File Server Name	NetWare Mode を Print Server Mode で使用する場合は File Server Name を設定できます。
NetWare Print Server Name	Remote Printer Mode で起動するプリントサーバ名を設定できます
NDS Tree Name	NDS プリントサーバモードでログインするツリー名を設定できます
NDS Contexte Name	NDS プリントサーバモードでプリントサーバを登録するコンテキスト名を設定できます
Print Server Name	NDS プリントサーバモード：ツリーにログインするためのプリントサーバ名、バインダリプリントサーバモード：NetWare ファイルサーバへログインするためのプリントサーバ名 を設定できます。
Printer Port Name	Network Box のパラレルポート名を設定できます。
Company Code	NetWare3.1xJ での社別識別子 (NetWare4.1X 以降では無効) を選択します。
SUBMIT	データ入力終了後、クリックします。

Change NetWare Password:

Network Box が NetWare ファイルサーバにログインするために使用するパスワードを設定できます。

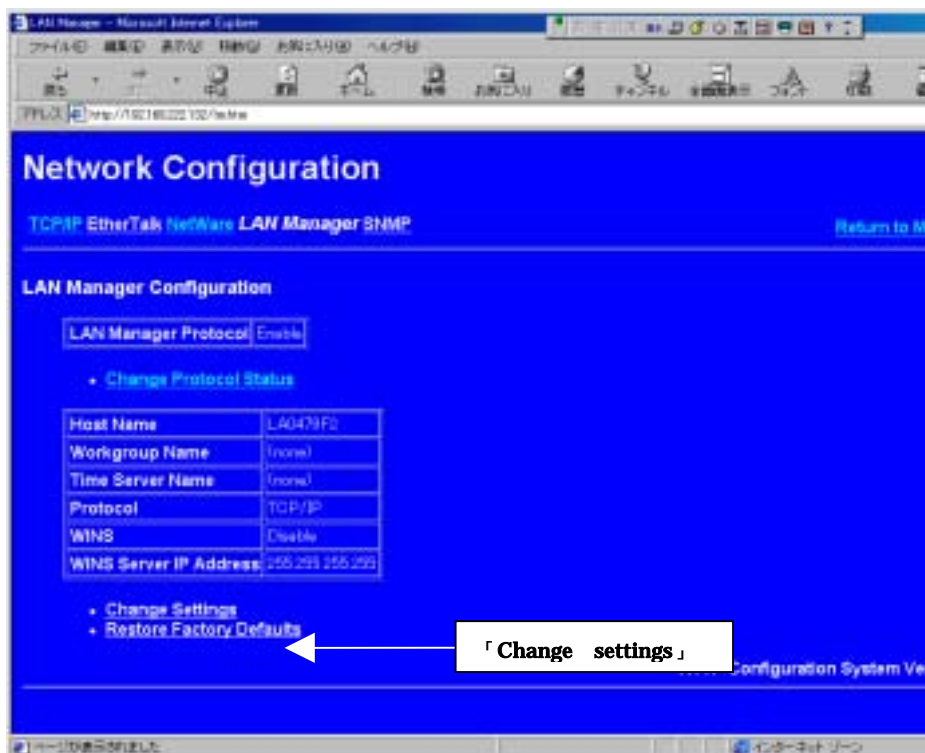
【注意】 プリントサーバモード・NDS プリントサーバモード時のみ有効です。

Restore Factory Defaults:

Network Box の NetWare 設定を工場出荷時に戻します。

6.1.4. LANManager

Network Box を LANManager の環境下で使用するための現在の設定が表示されます。



Change Protocol Status:

LANManager の環境下で Network Box を使用する / しないを設定できます。(Enable/Disable)

【注意】 デフォルトでは LANManager を使用する設定になっています。LANManager を使用しない場合はネットワーク上に無駄なパケットを送信しないように、Disable にすることをお勧めします。

Change Settings:

Network Box の LANManager 設定を変更することができます。

項目	内容
Host Name	ネットワークで本体を識別するホスト名を設定できます。他の機器と同じ名前を使用することはできません。必ず固有の名前を指定してください。(半角英数字最大 15 文字以内)
Work group Name	Network Box が属するドメイン名を設定できます。Windows95/98/Me/NT でドメイン管理をしている場合は、使用するドメイン名またはワークグループ名を指定してください。(半角英数字最大 15 文字以内)
Time Server Name	Network Box に設定したドメインのドメインコントローラを指定します。タイムサーバ名を指定しなくても印刷には影響ありませんが、プリントジョブ情報の時間が正しく表示されません。WindowsNT Server を使用していない場合やドメインの設定をしていない場合、この値は無効です。
Protocol	ご使用になる LANManager のベースとなるプロトコルを TCP/IP、

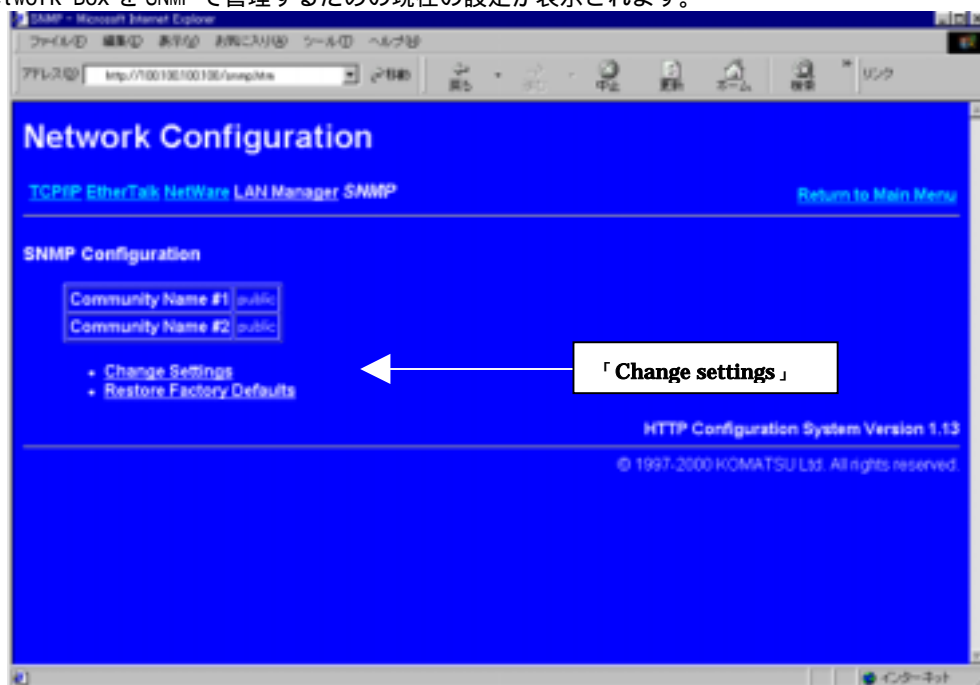
	NetBEUI のいずれかから選択します。
WINS	WINS サーバが存在するネットワーク環境で、WINS の解決をする / しないを設定できます。(Enable/Disable) この場合は、LANManager は下位プロトコルに TCP/IP を設定する必要があります。
WINS SERVER IP address	WINS を使用する場合には、WINS サーバの IP アドレスを設定する必要があります。 【注意】DHCP を使用して WINS サーバの IP アドレスを取得する場合は設定する必要はありません。(この場合には、DHCP を有効にする必要があります)ただし、DHCP が有効であるにも関わらず、WINS サーバの IP アドレスを取得できない場合があります。この場合は、WINS サーバの IP アドレスを直接設定する必要があります。
SUBMIT	データ入力終了後、クリックします。

Restore Factory Defaults:

Network Box の LANManager 環境の設定を工場出荷時に戻します。

6.1.5. SNMP

Network Box を SNMP で管理するための現在の設定が表示されます。



Change Settings:

Network Box の SNMP 環境の設定を変更することができます。

項目	内容
Community name for Administrator	管理用のコミュニティ名を設定することができます。 (A S C I I 31文字以内)
Community name #1	任意のコミュニティ名 # 1 を設定することができます。 (A S C I I 31文字以内)
Community name #2	任意のコミュニティ名 # 2 を設定することができます。 (A S C I I 31文字以内)

【注意】 Community name をすべて変更すると、SetupWizard でネットワーク上の Network Box が検索できなくなります。ただし、「ターゲット指定」画面にて Lxxxxxx を手入力すれば設定は可能です。

Restore Factory Defaults:

Network Box の SNMP のコミュニティ名を工場出荷時に戻します。

6.1.6. ROM Version

Network Box の FLASH ROM と BOOT ROM に現在インストールされているプログラムのバージョン情報を表示します。

6.1.7. Ethernet Status

Network Box のイーサネットアドレス (Mac アドレス) を表示します。

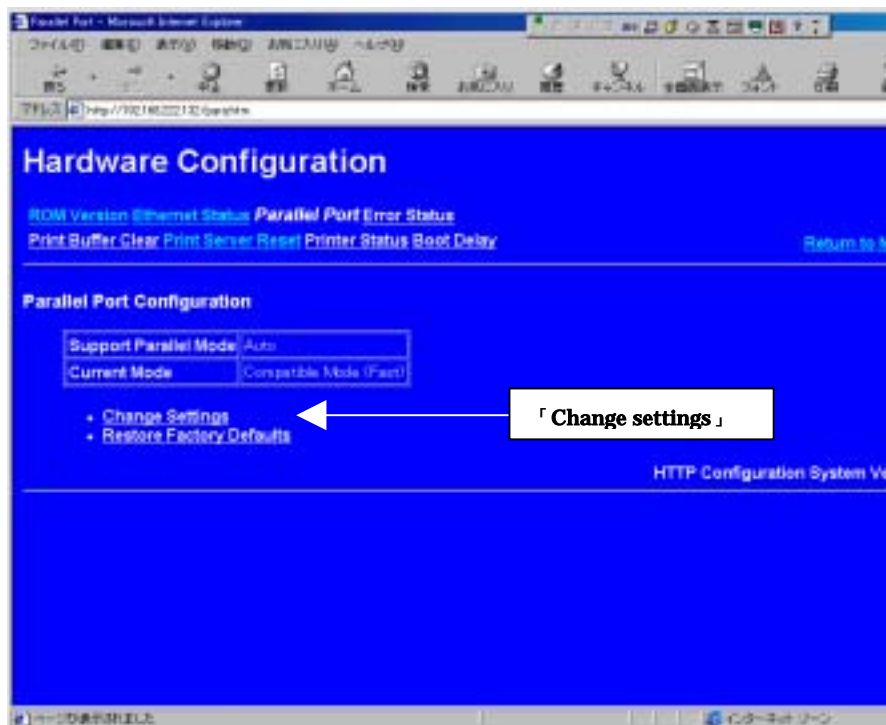
6.1.8. Parallel Port

Network Box の電源 ON 時に、接続されているプリンタとのネゴシエーションを行う / 行わないの設定変更ができます。

【注意】 AUTO, NIBBLE MODE を使用する場合は、必ずプリンタの電源 ON の後に Network Box の電源を ON してください。

また、NIBBLE MODE 固定の場合はプリンタがサポートしていない場合又は設定が一致していない場合はネゴシエーションエラーとなり印刷できません。

Network Box のパラレルポートの現在のモードの確認とスピード設定の変更ができます。



パラレルポートの現在のモードは、Network Box が起動時にプリンタのモードを自動認識したものを確認するもので変更はできません。

Change Settings :

Network Box の Parallel Port の設定を変更したい場合にはクリックします。

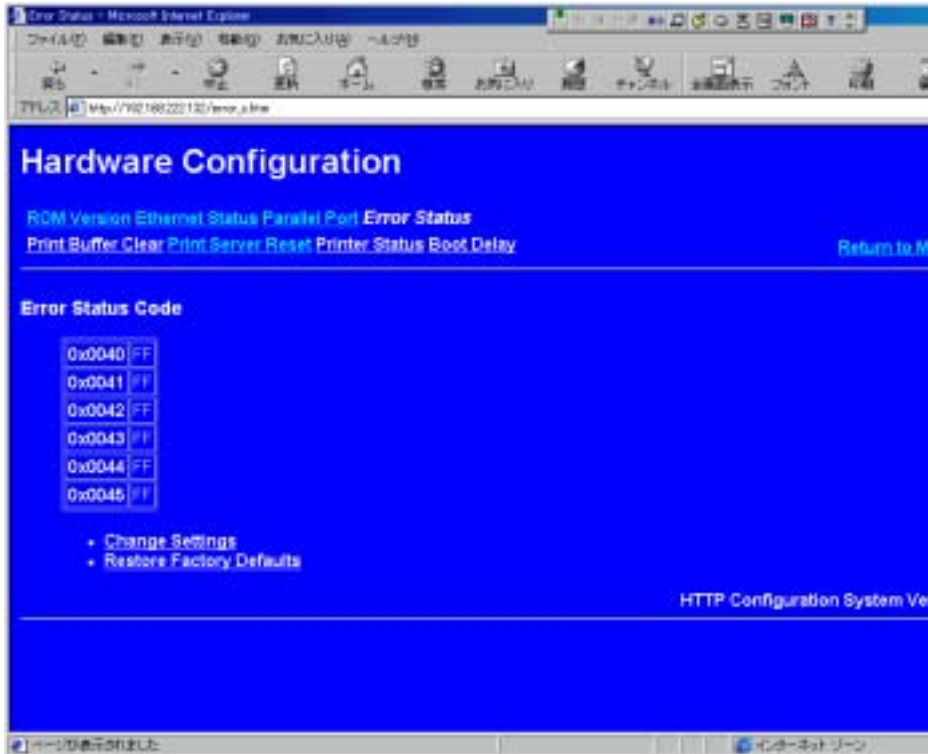
項目	内容
Support Parallel Mode	Network Box の電源ON時に、接続されているプリンタとのネゴシエーションの設定変更ができます。 【注意】AUTO, NIBBLE MODE を使用する場合は、必ずプリンタの電源ONの後にNetwork Boxの電源をONしてください。 また、NIBBLE MODE 固定の場合はプリンタがサポートしていない場合又は設定が一致していない場合はネゴシエーションエラーとなり印刷できません。
Current Mode	現在のパラレルのモードです。 ネゴシエーションの結果決定したモードを表示します。
Speed	ご使用になる環境に合わせてストローク間隔を変更 (Normal / Fast) できます。
SUBMIT	データ入力終了後、クリックします。

Restore Factory Defaluts :

Network Box のパラレルポートの設定を工場出荷時に戻します。

6.1.9. Error Status

Network Box に過去に発生したエラーの履歴を確認することができます。



エラーコードが格納されている領域は 40 番地から始まります。上の列に表示されている番地はエラーコードがかかれるアドレスのオフセットを表しています。

通常エラーが発生した場合、40 番地から 45 番地にエラーコードが書かれます。

各番地に対して、エラーが発生していない場合は 'FF' が表示されます。

次のエラーコードが書かれている場合は販売店またはメーカーにご連絡ください。

- ・ 40 番地 05, 06
- ・ 41 番地 02
- ・ 45 番地 04, 06, 08, 0A, 0C, 0E, 10, 16, 18, 1A, 1C, 1E

【注意】Network Box はエラーが発生すると、クリアしない限り以前のエラーコードを保存しています。エラーを起こした場合はクリアしてからご使用ください。

Change Settings :

Network Box のエラーコード値を変更する場合にはクリックします。

変更したいエラーコードを「FF」に変更後、「SUBMIT」ボタンをクリックします。

Restore Factory Defaults:

Network Box のエラーコードの値を工場出荷時に戻します。

6.1.10. Print Buffer Clear

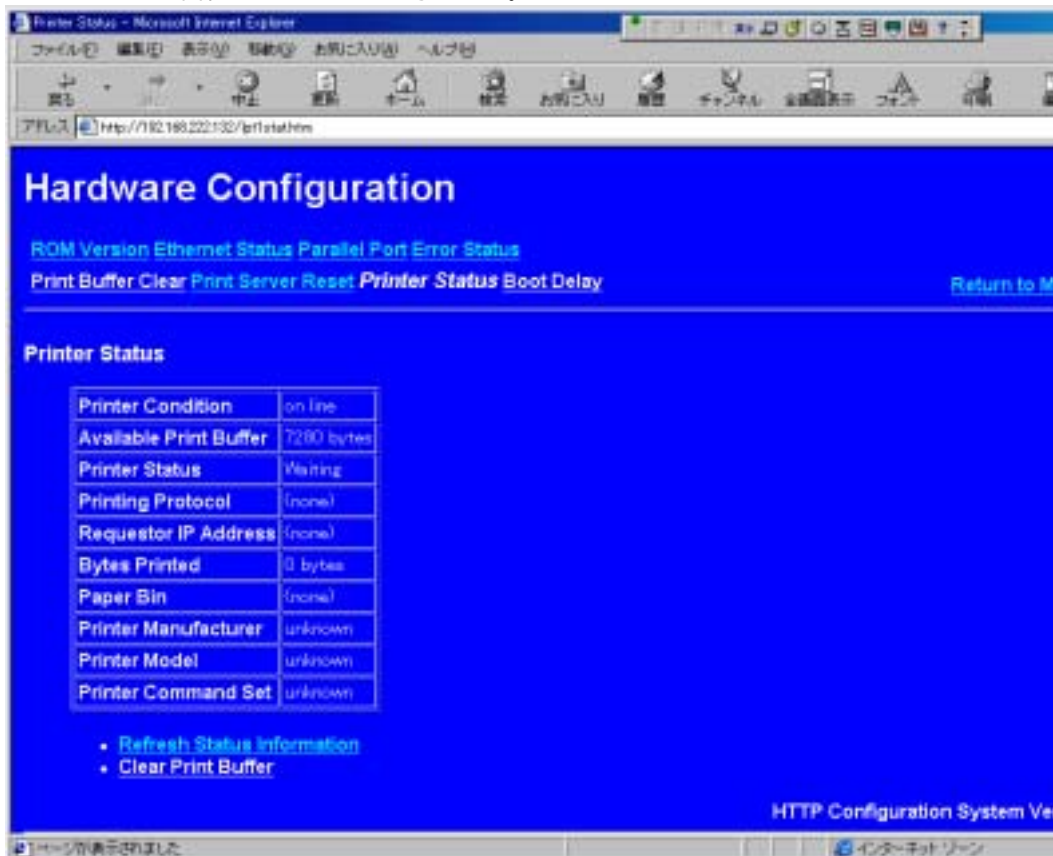
Network Box 本体の印刷バッファの内容を消去します。

6.1.11. Print Server Reset

Network Box 本体を再起動します。(ハードウェアリセット)

6.1.12. Printer Status

Network Box 本体のステータスを表示します。



Refresh Status Information :

Network Box 本体のステータスを最新の情報に更新して表示します。

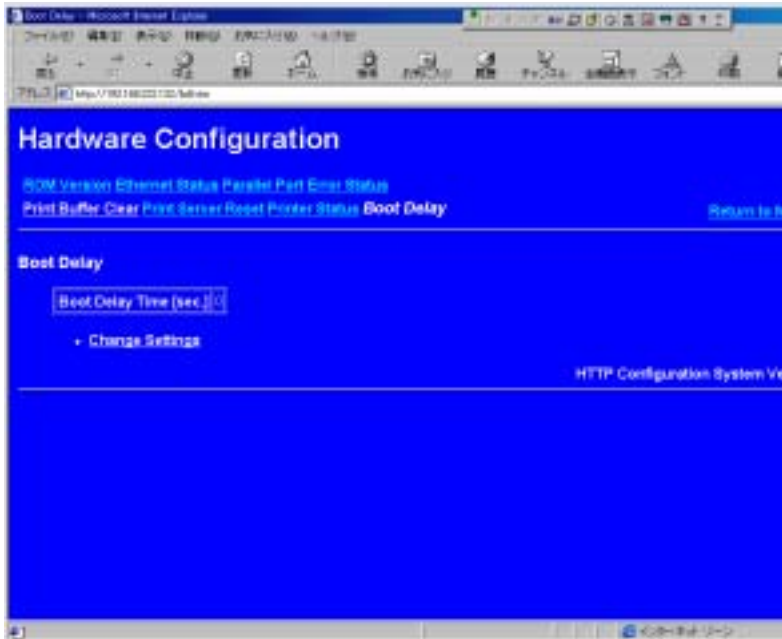
【注意】ただしこの機能を使用するためには、ブラウザ上でページの更新設定が必要になります。

Clear Print Buffer :

Network Box 本体の印刷バッファの内容を消去します。

6.1.13. Boot Delay

Network Box の起動時の遅延時間を表示 / 設定します。



Change Delay Time :

Network Box の起動時遅延時間を変更する場合にはクリックします。

【注意】 通常は変更する必要はありません。

【参考】 スイッチング HUB をご使用の場合は、スイッチング HUB によって電源投入後にすぐに通信が開始されない場合がありますので、そのような場合に設定ください。

項目	内容
Boot Delay (sec)	ご使用になる環境に合わせて遅延時間を秒単位で入力します。 (0-240 Sec)
SUBMIT	データ入力終了後、クリックします。

6.1.14. Change Password

TCP/IP で Network Box にログインするときのパスワードの変更ができます。



【注意】パスワードは 4 文字以上 15 文字以下で大文字小文字を区別し、半角 A ~ Z、a ~ z、0 ~ 9 を使用できます。パスワードは変更時より有効になります。Network Box をリセットまたは電源再投入する必要はありません。

6.2. telnet

telnet は UNIX の標準の通信コマンドで、Windows95/98/Me/NT/2000、OS/2 にも搭載されています。TCP/IP 環境で使用します。

【注意】 telnet を使用して Network Box の設定を行うには、あらかじめ Network Box に IP アドレスを設定する必要があります。IP アドレスの設定の方法は「3.1. IP アドレスの設定」をご覧ください。

6.2.1. Network Box へのログイン

telnet で Network Box にログインするには以下の手順で行います。

1. ワークステーションまたはパソコンから telnet を起動し、ネットワーク上の Network Box に接続します。

telnet の起動方法はプラットフォームにより異なりますので、各ワークステーションまたはソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

2. “Password: ” と表示されたらパスワードを入力します。
(入力しても画面には表示されません)

【例】 UNIX ワークステーションの一例

```
% telnet IP アドレス J  
Connected to Network Box!
```

```
Password:
```

工場出荷時のパスワードのデフォルト値は、“pass”(小文字半角)です。

パスワードはログイン後自由に変更できます。設定されたパスワード以外でログインした場合はすべての設定情報を参照することはできませんが、設定の変更はできません。

【注意】 telnet で設定したパスワードを忘れてしまった場合は弊社ネットワークサポートセンターまでご連絡ください。

3. 設定されたパスワードでログインに成功した場合、次のようなメインメニューが表示されます。

< MAIN MENU >
1. TCP/IP
2. EtherTalk
3. NetWare
4. LAN Manager
5. HARDWARE
6. PASSWORD
7. RESET
Q. QUIT (DISCONNECT)

設定されたパスワード以外でログインすると、次のようなメインメニューが表示されます。この場合、Network Box の設定情報を参照することはできますが、設定の変更はできません。

< MAIN MENU > - Reference Only -

1. TCP/IP
2. EtherTalk
3. NetWare
4. LAN Manager
5. HARDWARE
Q. QUIT (DISCONNECT)

【注意】 Network Box にログインした状態で約2分間キー入力がない場合、強制的に接続を解除します。Network Box に telnet で接続できるのは1ユーザのみです。他のユーザは、先のユーザがログアウトするまで接続できません。

< MAIN MENU > の構成

項 目	内 容
1 . TCP/IP	TCP/IP の設定画面へ移動します。
2 . EtherTalk	EtherTalk の設定画面へ移動します。
3 . NetWare	NetWare の設定画面へ移動します。

4 . LANManager	LANManager の設定画面へ移動します。
5 . HARDWARE	Network Box 本体の FLASH ROM、BOOT ROM のバージョン表示、MAC アドレス表示、データレート表示、カレントパラレルモード表示、パラレルスピード表示、JETADMIN の有効/無効、サポートパラレルモード表示、BOOT DELAY TIME 表示、ERROR STATUS 表示の画面へ移動します。
6 . PASSWORD	Telnet で Network Box にログインするためのパスワードを変更します。 パスワードは 4 文字以上 15 文字以下で大文字小文字を区別し、半角 A~Z, a~z, 0~9 を使用できます。 パスワードは変更時より有効になります。Network Box をリセットまたは電源再投入する必要はありません。
7 . RESET	Network Box をリセットします。
Q . QUIT (DISCONNECT)	Telnet を終了します。

【注意】ここでの PASSWORD は telnet でログインする時の PASSWORD です。

6.2.2. TCP/IP の設定

ここでは telnet を用いた TCP/IP に関する設定方法を説明します。

- 1 . < MAIN MENU > で「1 . TCP/IP」を選びます。
- 2 . < SUB MENU > 画面が表示されます。

< SUB MENU >
1. VIEW SETTINGS 2. CHANGE SETTINGS 3. RESTORE DEFAULT SETTINGS [ESC]. PREVIOUS SCREEN

< SUB MENU > の構成

項 目	内 容
1 . VIEW SETTINGS	設定の内容を表示します。
2 . CHANGE SETTINGS	設定を変更します。
3 . RESTORE DEFAULT SETTINGS	IP アドレス以外の設定を工場出荷時の値に戻します。
[ESC] . PREVIOUS SCREEN	< MAIN MENU > に戻ります。

- 3 . 「1 . VIEW SETTINGS」を選ぶと現在の Network Box の TCP/IP の設定が表示されます。

第 6 章 設定ユーティリティの使用方法

```
**** TCP/IP Settings ****
IP ADDRESS       : 100.100.100.100
SUBNET MASK      : 255.255.255.255
ROUTER IP ADDRESS : 255.255.255.255
RARP             : Enabled
BOOTP           : Disabled
DHCP            : Disabled
ARP + PING      : Enabled
SNMP(COMMUNITY NAME)
ADMINISTRATORS  : public
NAME #1         : public
NAME #2         : public
```

Press [ESC] key to continue...

4 . 「 2 . CHANGE SETTINGS 」 を選ぶと次の画面が表示されます。

```

|-----|
|           < TCP/IP >           |
|-----|
| 1. IP ADDRESS                   |
| 2. SUBNET MASK                  |
| 3. DEFAULT ROUTER              |
| 4. RARP                        |
| 5. BOOTP                       |
| 6. DHCP                        |
| 7. SNMP(COMMUNITY NAME)        |
| 8. ARP + PING                  |
| [ESC]. PREVIOUS SCREEN         |
|-----|
```

< TCP/IP > メニューの構成

項 目	内 容
1 . IP ADDRESS	Network Box の IP アドレスを設定します。 【注意】 IP アドレスを変更した場合、変更を有効にするためには本体の電源を入れ直すか、 < MAIN MENU > の 「 7 . RESET 」 を選択してください。
2 . SUBNET MASK	サブネットマスク設定します。
3 . DEFAULT ROUTER	デフォルト・ルータの IP アドレス指定します。
4 . RARP	RARP の使用を有効あるいは無効にできます。
5 . BOOTP	BOOTP の使用を有効あるいは無効にできます。
6 . DHCP	DHCP の使用を有効あるいは無効にできます。
7 . SNMP(COMMUNITY NAME)	SNMP の設定を行います。
8 . ARP + PING	ARP + PING による IP アドレス設定の使用を有効あるいは無効にできます。
[ESC] . PREVIOUS SCREEN	< SUB MENU > に戻ります。

デフォルトルータについて

デフォルトルータを指定しない場合は “ 255 . 255 . 255 . 255 ” を指定します。

RARP について

RARP を有効にする場合は必ずネットワークに RARP サーバが起動していることを確認してから行ってください。

BOOTP について

BOOTP を有効にする場合は必ずネットワークに BOOTP サーバが起動していることを確認してから行ってください。

DHCP について

DHCP を有効にする場合は必ずネットワークに DHCP サーバが起動していることを確認してから行ってください。

【注意】起動時にサーバから IP アドレスを取得する方法として DHCP、RARP、BOOTP がありますが、RARP/BOOTP の場合はサーバが起動していない場合は前回起動した IP アドレスにて起動しますが、DHCP を有効時に DHCP サーバが起動していない場合は、定期的に DHCP サーバへのリクエストパケットを送出して、TCP/IP による通信は行えませんのでご注意ください。動作 IP アドレスの決定方法につきましては、「3.1.3 動作 IP アドレスの決定手順」を参照ください。

SNMP について

SNMP の設定画面では 3 つのコミュニティ名を設定することができます。

コミュニティ名は SNMP を利用して Network Box の様々なステータス情報を参照するために必要な要素です。

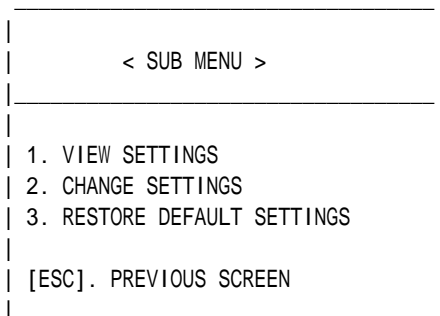
工場出荷時のデフォルトの設定では、すべて “ public ” に設定されています。この場合、SNMP を使った Network Box へのアクセスに制限はありません。

【注意】Community name をすべて変更すると、SetupWizard でネットワーク上の Network Box が検索できなくなります。ただし、「ターゲット指定」画面にて Lxxxxxxx を手入力すれば設定は可能です。

6.2.3. NetWare の設定

ここでは、telnet を用いた NetWare に関する設定方法を説明します。

- 1 . < MAIN MENU > で 「 3 . NetWare 」 を選びます。
- 2 . < SUB MENU > 画面が表示されます。



< SUB MENU > の構成

項 目	内 容
1 . VIEW SETTINGS	設定の内容を表示します。
2 . CHANGE SETTINGS	設定を変更します。
3 . RESTORE DEFAULT SETTINGS	すべての NetWare 設定を工場出荷時の値に戻します。
[ESC] . PREVIOUS SCREEN	< MAIN MENU > に戻ります。

3 . 1 . 「VIEW SETTINGS」を選択すると Network Box の現在の NetWare 設定が表示されます。

<NetWare MODE が Print Server Mode の場合 >

```

**** NetWare Settings ****
NetWare is currently ENABLED.
NetWare MODE       : Print Server Mode
NetWare FILE SERVER : (NONE)
PRINT SERVER NAME  : LAxxxxxx
LPT1 PORT NAME     : LAxxxxxx-P1
COMPANY CODE       :
DEFAULT FRAME TYPE : ETHERNET_802.2
    
```

<NetWare MODE が Remote Printer Mode の場合 >

```

**** NetWare Settings ****
NetWare is currently ENABLED.
NetWare MODE       : Remote Printer Mode
DEFAULT PRINT SERVER : (NONE)
PRINT SERVER NAME  : LAxxxxxx
LPT1 PORT NAME     : LAxxxxxx-P1
COMPANY CODE       :
DEFAULT FRAME TYPE : ETHERNET_802.2
    
```

<NetWare MODE が NDS Print Server Mode の場合 >

```

**** NetWare Settings ****
NetWare is currently ENABLED.
NetWare MODE       : NDS Print Server Mode
    
```

```
NDS TREE NAME      :  
NDS CONTEXT NAME   :  
PRINT SERVER NAME  : LAxxxxxx  
LPT1 PORT NAME     : LAxxxxxx-P1  
COMPANY CODE       :  
DEFAULT FRAME TYPE : ETHERNET_802.2
```

< NetWare MODE が Standby Mode の場合 >

```
**** NetWare Settings ****
```

```
NetWare is currently ENABLED.
```

```
NetWare MODE       : Standby Mode  
PRINT SERVER NAME  : LAxxxxxx  
LPT1 PORT NAME     : LAxxxxxx-P1  
COMPANY CODE       :  
DEFAULT FRAME TYPE : ETHERNET_802.
```

【注意】 設定を変更していない場合は、PRINT SERVER NAME 及び LPT1 PORT NAME の xxxxxx は、Network Box 底面に貼付されている LA xxxxxx の 6 桁の英数字です。

第6章 設定ユーティリティの使用方法

4. < SUB MENU > の「2. CHANGE SETTINGS」を選ぶと次の画面が表示されます。

< NetWare >
1. DISABLE NetWare
2. NetWare MODE
3. PRINT SERVER NAME
4. LPT1 PORT NAME
5. LPT1 COMPANY CODE
6. ETHERNET FRAME TYPE
7. NetWare FILE SERVER
8. NetWare PRINT SERVER
9. NetWare PASSWORD
A. NDS TREE NAME
B. NDS CONTEXT NAME
[ESC]. PREVIOUS SCREEN

< NetWare MENU > の構成

項 目	内 容
1 . DISABLE NetWare	NetWare プロトコルを停止します。 【注意】この場合、Network Box は一切 IPX/SPX 通信を行いません。さらに、定期的な NetWare のパケット送信も停止します。この状態で、「2. CHANGE SETTINGS」を選択すると NetWare を Enable にするかどうかのメニューのみを表示します。
2 . NetWare MODE	Network Box を NetWare Mode を設定できます。
3 . PRINT SERVER NAME	プリントサーバのログイン名を設定します。
4 . LPT1 PORT NAME	プリンタ・ポート名を設定します。
5 . LPT1 COMPANY CODE	NetWare3.1xJ での社別識別子を選択します。
6 . ETHERNET FRAME TYPE	使用するイーサネットフレームタイプを選択します。
7 . NetWare FILE SERVER	NetWare MODE を Print Server Mode で使用する場合は NetWare サーバへログインするための NetWare FILE SERVER 名を設定できます。
8 . NetWare PRINT SERVER	NetWare MODE を Remote Printer Mode で使用する場合は NetWare PRINT SERVER 名を設定できます。
9 . NetWare PASSWORD	NetWare サーバへのログインパスワードを設定します。
A . NDS TREE NAME	ログインするツリー名
B . NDS CONTEXT NAME	NDS プリントサーバを登録するコンテキスト名
[ESC] . PREVIOUS SCREEN	< SUB MENU > に戻ります。

6.2.4. LANManager の設定

ここでは、telnet を用いた LANManager に関する設定方法を説明します。

- 1 . < MAIN MENU > で「4. LANManager」を選びます。
- 2 . < SUB MENU > 画面が表示されます。

< SUB MENU >
1. VIEW SETTINGS
2. CHANGE SETTINGS
3. RESTORE DEFAULT SETTINGS
[ESC]. PREVIOUS SCREEN

< SUB MENU > の構成

項 目	内 容
1 . VIEW SETTINGS	設定の内容を表示します。
2 . CHANGE SETTINGS	設定を変更します。
3 . RESTORE DEFAULT SETTINGS	すべての LANManager 設定を工場出荷時の値に戻します。
[ESC] . PREVIOUS SCREEN	< MAIN MENU > に戻ります。

- 3 . 「1 . VIEW SETTINGS」を選択すると現在の設定内容を次のように表示します。

```

**** LAN Manager Settings ****
LAN Manager is currently ENABLED.
HOST NAME       : LAxxxxxx
WORKGROUP NAME  : (Not Set)
TIME SERVER NAME : (Not Set)
PROTOCOL        : NetBEUI

```

【注意】 設定を変更されていない場合は、HOST NAME の xxxxxx は、Network Box 底面に貼付されている LA xxxxxx の 6 桁の英数字です。

4. < SUB MENU > の「2. CHANGE SETTINGS」を選ぶと次の様な画面が表示されます。

< LAN Manager >
<ul style="list-style-type: none"> 1. DISABLE LAN Manager 2. Host NAME 3. WORKGROUP NAME 4. TIME SERVER NAME 5. PROTOCOL
[ESC]. PREVIOUS SCREEN

LANManager 設定メニューの構成

項 目	内 容
1 . DISABLE LANManager	LANManager プロトコルを停止します。 【注意】この状態で、「2. CHANGE SETTINGS」を選択すると LANManager を Enable にするかどうかのメニューのみを表示します。
2 . Host NAME	ネットワークで本体を識別するホスト名を設定します。他の機器と同じ名前を使用することはできません。必ず固有の名前を指定してください。 (半角英数字最大 15 文字以内)
3 . WORKGROUP NAME	Network Box が属するドメイン名を設定します。Windows95/98/Me/NT でドメイン管理をしている場合は、使用するドメイン名またはワークグループ名を指定してください。 (半角英数字最大 15 文字以内)
4 . TIME SERVER NAME	Network Box に設定したドメインの WindowsNT Server のドメインコントローラを指定します。タイムサーバ名を指定しなくても印刷には影響ありませんが、プリントジョブ情報の時間が正しく表示されません。WindowsNT Server を使用していない場合やドメインの設定をしていない場合はこの値は無効です。
5 . PROTOCOL	ご使用になる LANManager のベースとなるプロトコルを TCP/IP あるいは NetBEUI のいずれかから選択します。
6 . WINS	WINS サーバが存在するネットワーク環境で、WINS の解決をする / しない (Enable/Disable) を設定できます。このメニューは、LANManager で下位プロトコルに TCP/IP が設定してある場合のみ表示されます。
7 . WINS SERVER IP address	WINS を使用する場合には、WINS サーバの IP アドレスを設定する必要があります。このメニューは、WINS が Enable に設定されている場合のみ表示されます。 【注意】DHCP を使用して WINS サーバの IP アドレス

	を取得する場合は設定する必要はありません。(この場合には、DHCP を有効にする必要があります)
[ESC] . PREVIOUS SCREEN	< SUB MENU > に戻ります

【注意】ホスト名、ドメイン/ワークグループ名、タイムサーバ名は、下記の半角記号は入力禁止文字なので、使用しないでください。

" (ダブルクォーテーション) = (イコール) | (パイプ) ¥ (円マーク) + (プラス)
; (セミコロン) * (アスタリスク) : (コロンの)] (大カッコ右) [(大カッコ左)
, (カンマ) < (不等号大なり) > (不等号小なり) ? (クエスチョンマーク)

【注意】1～7の項目を変更した場合は、メインメニューの「7.RESET」を実行してください。

6.2.5. ハードウェア環境の設定

ここでは、telnet を用いたハードウェア環境に関する設定方法を説明します。

1 . < MAIN MENU > で「5 . HARDWARE」を選びます。

2 . < SUB MENU > 画面が表示されます。

< SUB MENU >
1. VIEW SETTINGS
2. CHANGE SETTINGS
3. RESTORE DEFAULT SETTINGS
[ESC]. PREVIOUS SCREEN

< SUB MENU > の構成

項 目	内 容
1 . VIEW SETTINGS	設定の内容を表示します。
2 . CHANGE SETTINGS	設定を変更します。
3 . RESTORE DEFAULT SETTINGS	すべての HARDWARE 設定を工場出荷時の値に戻します。
[ESC] . PREVIOUS SCREEN	< MAIN MENU > に戻ります。

3 . 「1 . VIEW SETTINGS」を選択すると現在の設定内容が次のように現れます。

```
**** Hardware Settings ****
FLASH ROM TYPE      : 0602
        VERSION      : xxxx
        BUILD        : xxxx-xx-xx
```

第 6 章 設定ユーティリティの使用方法

```
EPROM ROM TYPE      : 0602
    VERSION          : xxxx
    BUILD            : xxxx-xx-xx
ETHERNET ADDRESS     : 00C06Fxxxxxx
ETHERNET MODE        : Auto(Half Duplex)
DATARATE             : 10BASE-T(Half)

PRINTER SUPPORT MODE : Compatible Mode(Fast)
PARALLEL SPEED       : Fast(for non NIBBLE printing)
JETADMIN             : Disable
SUPPORT PARALLEL MODE : AUTO (NIBBLE / Compatible)

BOOT DELAY TIME      : 0 sec.
ERROR STATUS 0x40    : FF
                   0x41    : FF
                   0x42    : FF
                   0x43    : FF
                   0x44    : FF
                   0x45    : FF
```

FLASH ROM TYPE / VERSION / BUILD

Network Box の FLASH ROM の TYPE / VERSION / BUILD に関する情報を表示します。

EPROM ROM TYPE / VERSION / BUILD

Network Box の EPROM ROM の TYPE / VERSION / BUILD に関する情報を表示します。

【注意】FLASH ROM 及び EPROM ROM の VERSION(xxxx)及び BUILD(yyyy-xx-xx)は、現在の Network Box のフラッシュメモリに搭載しているプログラムによって変わります。

ETHERNET ADDRESS

Network Box の ETHERNET ADDRESS を表示します。

【注意】ETHERNET ADDRESS の xxxxxx は、Network Box 底面に貼付されている LA xxxxxx の 6 桁の英数字です。

DATARATE

Network Box の現在の通信モード(AUTO/100BASE-TX/10BASE-T・(HALF DUPLEX/FULL DUPLEX)) を表示します。

CURRENT PARALLEL MODE

Network Box 現在の PARALLEL MODE(Compatible Mode(Fast)/Compatible Mode(Normal)/NIBBLE)を表示します。

PARALLEL SPEED

Network Box の現在の PARALLEL SPEED(Fast/Normal)を表示します。

【注意】PARALLEL SPEED は、Compatible Mode 時のパラレルポートストロブ間隔の設定ですので、NIBBLE モードの場合は無効です。

SUPPORT PARALLEL MODE

Network Box が電源ON時に接続されているプリンタと I/F 決定のためのネゴシエーショ

ンモード(AUTO/NIBBLE/Compatible)を表示します。

【注意】AUTO, NIBBLE MODE を使用する場合は、必ずプリンタの電源 ON の後に Network Box の電源を ON してください。

また、NIBBLE MODE 固定の場合はプリンタがサポートしていない場合又は設定が一致していない場合はネゴシエーションエラーとなり印刷できません。

BOOT DELAY TIME

Network Box の起動時の遅延時間を表示します。

ERROR STATUS

Network Box 本体のエラー状況を表示します。

4 . < SUB MENU > の「2 . CHANGE SETTINGS」を選ぶと次の画面が表示されます。

< HARDWARE MENU >
1. ETHERNET MODE
2. PARALLEL PROT SPEED
3. BOOT DELAY
4. ERROR STATUS CLEAR
5. JETADMIN
6. SUPPORT PARALLEL MODE
[ESC]. PREVIOUS SCREEN

ハードウェア設定メニューの構成

項 目	内 容
1 . ETHERNET MODE	Network Box の通信モード (AUTO/100BASE-TX/10BASE-T・(HALF DUPLEX/FULL DUPLEX)) を設定します。
2 . PARALLEL PORT SPEED	印刷ポートのストローク間隔 (Fast/Normal) を調整できます。【注意】パラレルポートストローク間隔の設定です。
3 . BOOT DELAY	起動時の遅延時間を調整できます。
4 . ERROR STATUS CLEAR	Network Box 本体のエラー状況をクリアできます。
5 . SUPPORT PARALLEL MODE	Network Box が電源 ON 時に接続されているプリンタと I/F 決定のためのネゴシエーションモード (AUTO/NIBBLE/Compatible) を設定できます。
[ESC] . PREVIOUS SCREEN	< SUB MENU > に戻ります

< HARDWARE MENU > 画面で「4 . ERROR STATUS CLEAR」を選ぶと次の画面が表示されます。

< CLEAR ERROR STATUS >

```
| 0. CLEAR 0x40  
| 1. CLEAR 0x41  
| 2. CLEAR 0x42  
| 3. CLEAR 0x43  
| 4. CLEAR 0x44  
| 5. CLEAR 0x45  
|  
| [ESC]. PREVIOUS SCREEN  
|_____
```

```
ERROR STATUS 0x40 : FF  
                0x41 : FF  
                0x42 : FF  
                0x43 : FF  
                0x44 : FF  
                0x45 : FF
```

エラーコードが格納されている領域は 40 番地から始まります。左の列に表示されている番号はエラーコードが書かれるアドレスのオフセットを表しています。

通常エラーが発生した場合、40 番地から 45 番地にエラーコードが書かれます。特定の場
合のみ、その他の番地にエラーコードが書かれます。

各番地に対して、エラーが発生していない場合は 'FF' が表示されます。

次のエラーコードが書かれている場合は販売店またはメーカーにご連絡ください。

- ・ 40 番地 05, 06
- ・ 41 番地 02
- ・ 45 番地 04、06、08、0A、0C、0E、10、16、18、1A、1C、1E

**【注意】Network Box はエラーが発生すると、クリアしない限り以前のエラーコードを保存して
います。エラーを起こした場合はクリアしてからご使用ください。**

6.3. WIP_SET

WIP_SET は TCP/IP の各パラメータを設定するツールですが、以下の環境で動作します。この時設
定用のパソコンにはネットワークドライバとして TCP/IP プロトコルが組み込まれている必要が
あります。また Winsock1.1 以上に対応している事がが必要です。WIP_SET は、Network Box 付属の
CD-ROM「Network Box SERIES PROGRAM MANUAL」のフォルダ「Network Box」「Utility」「Tcip.dsk」
内に収録されています。

**【注意】WIP_SET.EXE はルータやゲートウェイを介して Network Box の設定を行うことはできませ
ん。必ず Network Box と同一セグメント内の PC で使用してください。**

- 1 Windows3.1 (Winsock1.1 以上に対応した別途 TCP/IP ソフトが必要です)
- 2 Windows95/98/Me

3 WindowsNT3.51/NT4.0/2000

Network Box の以下の項目設定ができます。

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定

LANManager の ENABLE/DISABLE 設定（下位プロトコルの設定：TCP/IP or NetBEUI、ホスト名、ドメイン名、タイムサーバ名）

DHCP の ENABLE/DISABLE の設定

WINS の ENABLE/DISABLE の設定（ENABLE 時は、WINS サーバの IP アドレス）

【注意】Windows3.1 用の TCP/IP ドライバ(ソフト)の中には、Winsock1.1 完全互換ではないものがあります。Winsock1.1 完全互換製品をご利用ください。



Network Box 本体をネットワークに接続し、電源を投入します。Network Box 付属の CD-ROM「Network Box SERIES PROGRAM MANUAL」のフォルダ「Network Box」「UTILITY」「TCPIP.DSK」の WIP_SET.EXE を起動し、WIP_SET.EXE を起動し、Network Box 本体裏面に貼付されているラベルの MAC アドレス「00A07Axxxxxx」をリストから選択または入力します。「OK」ボタンを押す次のウインドが開き、MAC アドレスで指定した Network Box の現在の設定を表示します。

TCP/IP で必要な IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを入力してください。

Network Box の工場出荷時の設定では「LANManager を使用する」のチェックボックスがチェックされています。

【注意】ネットワーク上に Network Box 以外のプリントサーバが存在する場合には、リストに Network Box 以外の MAC アドレスが表示されることがあります。

この場合には、Network Box 本体裏面に貼付されている MAC アドレスを必ずご確認してから設定を行ってください。

TCP/IP設定ユーティリティ

MACアドレス : 00C06F0479F2

IPアドレスを自動的に取得(DHCP)

IPアドレス : 192.168.222.132

サブネットマスク : 255.255.255.255

ゲートウェイアドレス : 255.255.255.255

LAN Managerを使用する

ホスト名 : LA001234

ドメイン名 :

タイムサーバ名 :

WINSを使用する

WINSサーバのIPアドレス : 255.255.255.255

設定 終了 ヘルプ

設定中の機器に名前を設定します。

LANManager を使用するとき、ホスト名、ドメイン名、タイムサーバ名を入力してください。また、LANManager の下位プロトコルとして、NetBEUI もしくは TCP/IP を選択することができます。（ホスト名を省略すると、デフォルト名がホスト名になります。ドメイン名とタイムサーバ名は、必要に応じて設定してください。）

工場出荷時は WINS を使用しない設定（プロトコルは NetBEUI が default のため）になっていますが、WINS を使用する場合は、「プロトコル」で TCP/IP を選択してから、WINS のチェックボックスにチェックを入れてください。

WINS を使用する場合は、WINS サーバの IP アドレスを入力します。（DHCP にチェックしてない場合、または DHCP にチェックしてあるが WINS サーバの IP アドレスが取得できなかった場合）

工場出荷時は LANManager を使用する設定になっていますが、LANManager を使用しない場合はチェックボックスのチェックを外します。

工場出荷時は DHCP を使用しない設定になっていますが、DHCP のチェックボックスがチェックされている場合はチェックを外します。

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを入力します。

入力する値についてはネットワーク管理者にご相談ください。

「設定」をクリックすると、下図の確認メッセージが表示されますので「OK」をクリックします。



Network Box に設定を送信し、変更内容が書き込まれます。設定の書き込みにはしばらく時間がかかります。書き込みが成功すると、次の設定終了の確認メッセージが表示されます。



設定した内容を有効にする為に、Network Box の電源を OFF/ON します。

【参考】IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスのみの変更に関しては、Network Box の電源を入れ直す必要はありません。設定直後に有効になります。

6.4. LPrint98q

LPrint98 は Microsoft Windows 95/98/Me で Network Box とピア・ツー・ピア印刷を行うためのユーティリティです。インストールを始める前にプリンタドライバをインストールされている事を前提とします。プリンタドライバのインストールの詳細については各プリンタメーカーのマニュアルをご覧ください。

【特徴】

Windows 95/98/Me の標準プリントシステムの一部(ポートモニタ)として動作します。

印刷を開始した時に実行され、印刷が終了すると停止します。

印刷先のポート名を自由に設定し、複数の印刷先をわかりやすく整理できます。

異なる複数のプリンタへ同時に印刷することもできます。

プリンタの状態をモニタできます。

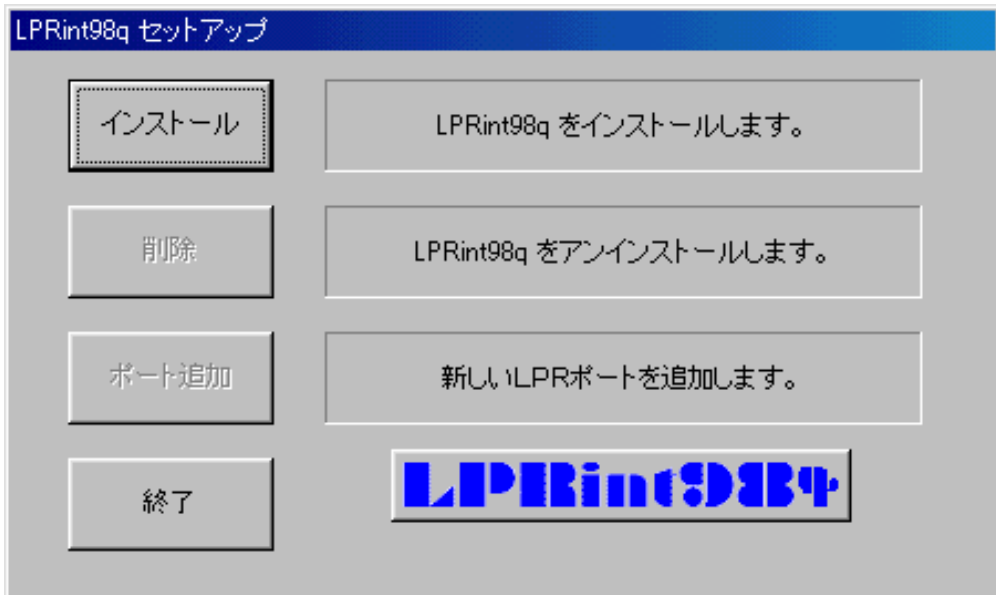
【概要】

- 1) LPrint98q のインストール 「6.4.1.」参照
- 2) ポートの設定 「6.4.2.」参照
 - 2.1) ポートの設定を LPrint98q セットアッププログラムで行う場合 「6.4.2.1」参照
 - 2.2) ポートの設定をプリンタのプロパティの詳細画面で行う場合 「6.4.2.2」参照
- 3) ポートの詳細設定 「6.4.3.」参照
- 4) ポートの変更 「6.4.4.」参照
- 5) ポートの削除 「6.4.5.」参照
- 6) 印刷のモニタおよび印刷の中止 「6.4.6.」参照
- 7) LPrint98q のアンインストール 「6.4.7.」参照
- 8) トラブルシューティング 「6.4.8.」参照

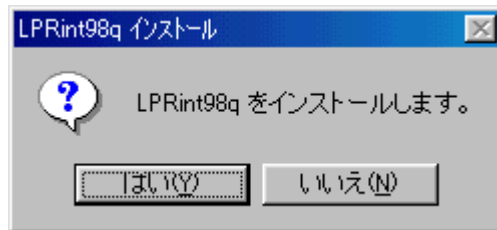
6.4.1. LPrint98q のインストール

【注意】LPrint98q のインストールは他のアプリケーションをすべて終了してから行ってください。

- 1) LPrint98q のインストールは付属の CD-ROM 「55P1589 Network Box PROGRAM MANUAL」をドライブに挿入します。
- 2) スタートメニューの「ファイル名を指定して実行」を選択し、参照ボタンで「lprint98q」
「program.dsk」フォルダ内の **Setup.exe** を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。



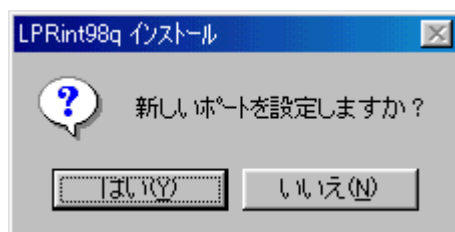
- 3) LPRint98qのセットアッププログラムが起動したら、「インストール」ボタンをクリックします。
- 4) インストールを開始するには「はい(Y)」ボタンをクリックしてください。
ファイルコピーがはじまります。



- 5) ファイルコピーの終了後、「OK」ボタンをクリックしてください。



- 6) セットアップ完了後、新規にLPRint98qポートを設定することができます。
通常は「はい(Y)」をクリックしてください。 設定方法については「7.7.2.1. ポートの設定をLPRint98qセットアッププログラムで行う場合」をご覧ください。
ここでポートを設定しない場合は「いいえ(N)」をクリックしてください。 この場合は「7.7.2.2. ポートの設定をプリンタのプロパティの詳細画面で行う場合」をご覧ください。



【注意】「いいえ(N)」をクリックした場合は「LPRint98q のセットアップ」ダイアログボックスの「終了」ボタンをクリックしてから、Windows 95/98/Me の再起動を行ってください。

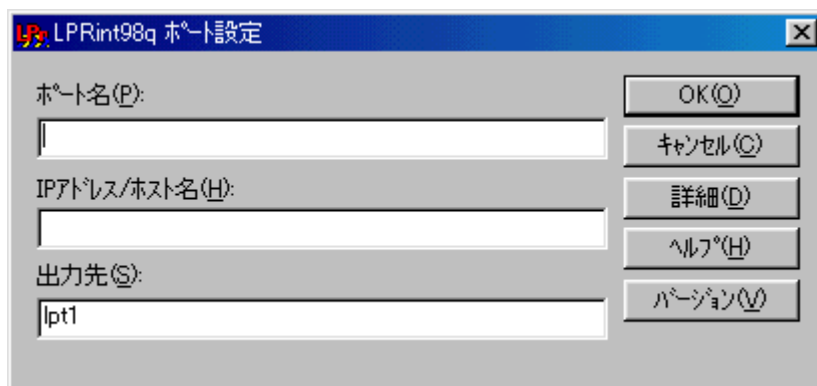
6.4.2. ポートの設定

Windows 95/98/Me ではプリンタのプロパティの詳細画面で「印刷先のポート」に LPRint98q のポートを設定する必要があります。

6.4.2.1. ポートの設定を LPRint98q セットアッププログラムで行う場合

LPRint98q セットアッププログラムで新しいポートを設定します。

- 1) 「7.7.1.6)」からの続きとなります。「新しいポートを設定しますか?」の画面が表示されていることを確認してください。
- 2) 「はい(Y)」をクリックすると次の「LPRint98q ポート設定」ダイアログボックスが表示されますので、ポートを設定します。



- 3) 「ポート名」、「IP アドレス/ホスト名」、「出力先」の各項目を入力してください。

a) ポート名:

任意の名前を入力してください。

ただし、プリンタのプロパティの詳細画面で「印刷先のポート」で設定済みのポート名と同じ名前は使用しないでください。また以下の半角記号は使用しないでください。

スペース " | "/" | "*" | "& | ":" | "="

b) IP アドレス /ホスト名:

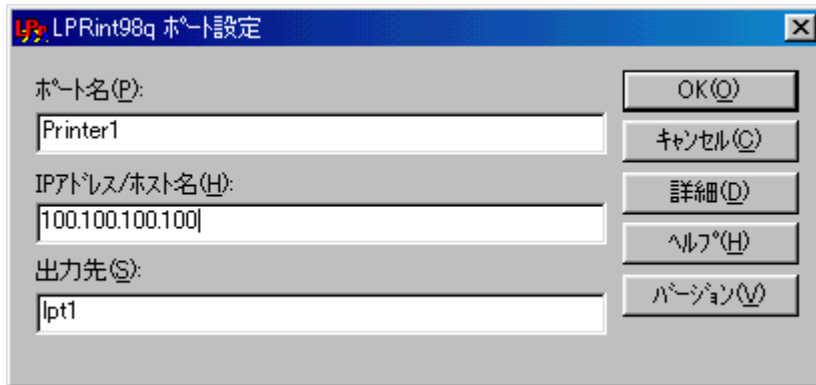
Network Box の IP アドレスを入力してください。

c) 出力先:

lpt1 を入力してください。

なお、「詳細」の内容については「7.7.3. ポートの詳細設定」をご覧ください。また、「ヘルプ」、「バージョン」については「7.7.6. 印刷のモニタおよび印刷の中止」をご覧ください。

例) Network Box の IP アドレスが「100.100.100.100」であり、Network Box のパラレルポートにプリンタが接続されている場合。

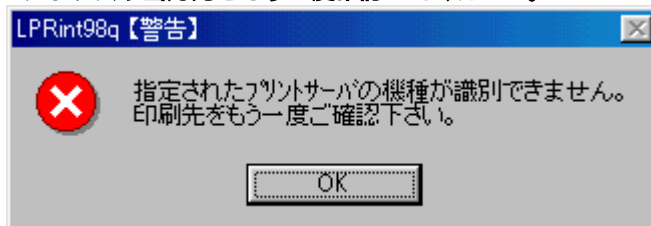


4) 各項目の設定が完了したら「OK」ボタンをクリックしてください。

【注意】「OK」を押して「LPRint98q【警告】」ダイアログが Windows 95/98/Me 画面上に表示される場合、以下が考えられます。

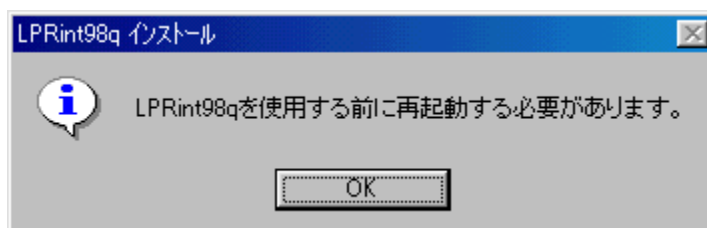
Network Box の IP アドレスは設定されているが、「LPRint98q ポート設定」ダイアログボックス内の「IP アドレス/ホスト名」や「出力先」が間違っていて入力されている場合。

IP アドレスや出力先をもう一度確認してください。

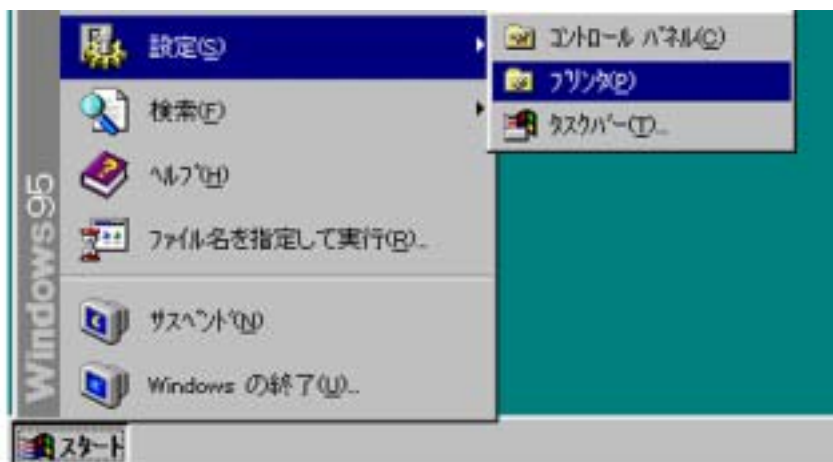


【注意】この手順ではインストールの続きからポート設定をしています。「LPRint98q ポート設定」

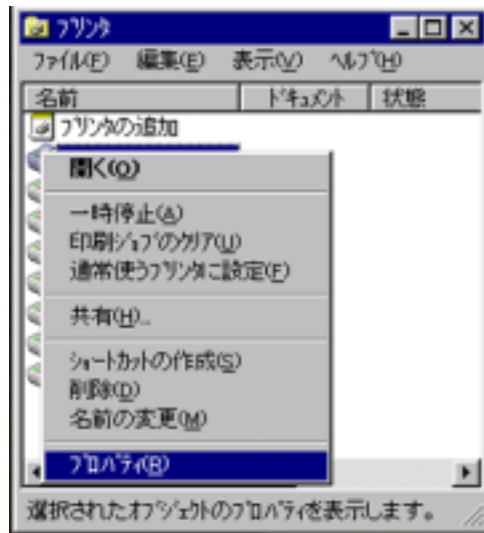
の各項目の設定が終わり次第、下図が表示されるので「OK」をクリックした後、LPRint98qのセットアップ」ダイアログボックスの「終了」ボタンをクリックし、Windows 95/98/Me を再起動してください。



- 5) スタートメニューから「設定」 「プリンタ」を選択してください。
- 6)



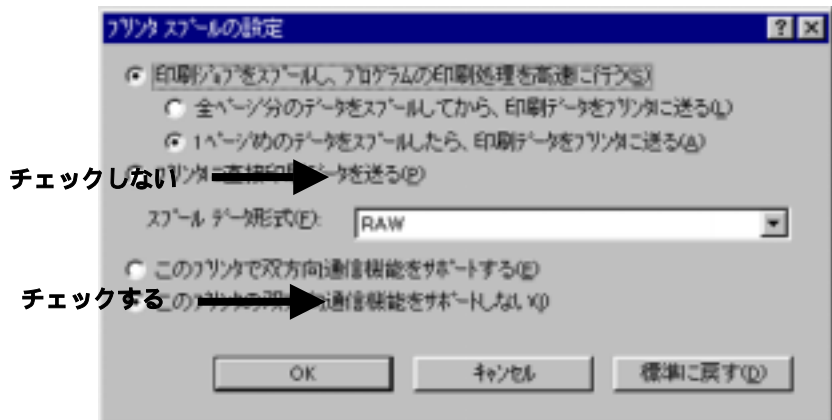
- 7) 「プリンタ」ウインドウから LPRint98q で出力したいプリンタを選択し、右クリック 「プロパティ」を選択してください。



- 7) 「プロパティ」画面が表示されたら「詳細」タブをクリックし、先ほど設定した LPrint98q のポートを「印刷先のポート」で選択してください。



- 8) 「スプールの設定」ボタンをクリックしてください。以下の画面で「プリンタに直接印刷データを送る」にはチェックしないでください。また、「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」が選択できる場合は、ここにチェックしてください。双方向をサポートしていないドライバでは、グレー表示になり選択できません。



【注意】印刷時に LPRint98q が起動しない場合、もしくは次のエラーが表示される場合は上記の設定がされていないことが考えられるので、確認してください。



- 9) 「スプールの設定」ができたなら「適用」ボタンをクリックしてください。ポートの設定はこれで終了です。
- 10) 「情報」タブをクリックし、「印字テスト」ボタンを押し、印刷を確認してください。

6.4.2.2. ポートの設定をプリンタのプロパティの詳細画面で行う

LPRint98q のインストール時にポートを設定していない場合でも、プリンタのプロパティの詳細画面からポートを追加もしくは設定変更することができます。

- 1) プリンタのプロパティの詳細画面を開いてください。「7.7.2.1.7)」をご覧ください。
- 2) 「ポートの追加」ボタンをクリックしてください。
- 3) 「ポートの追加」画面が表示されたら「その他」のラジオボタンをチェックし、「追加するポートの種類」のリストから「LPRint98q」を選択し「OK」ボタンをクリックしてください。

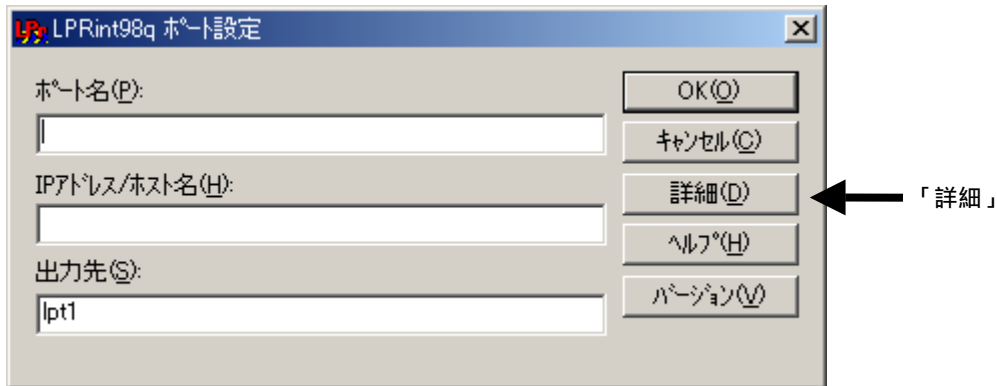
【注意】LPRint98q が表示されていない場合は Windows 95/98/Me を再起動してください。

- 4) 「OK」ボタンをクリックすると「LPRint98q ポート設定」ダイアログボックスが表示されます。設定方法は「7.7.2.1.3)」をご覧ください。

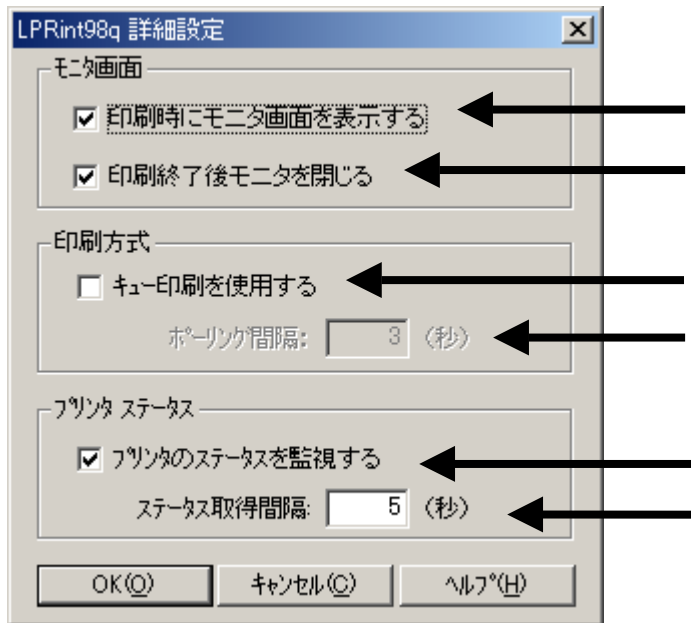


- 5) 「LPRint98q ポートの設定」ダイアログボックスの各項目の入力が完了し、「OK」ボタンをクリックした後、プリンタのプロパティの詳細画面の「**スプールの設定**」ボタンをクリックしてください。「7.7.2.1.8)」をご覧ください。
- 6) プリンタのプロパティの詳細画面に戻ったら「適用」ボタンをクリックしてください。
- 7) 「情報」タブをクリックし、「印字テスト」ボタンを押し、印刷を確認してください。

6.4.3. ポートの詳細設定



「LPRint98q ポート設定」ダイアログボックスの「詳細」ボタンをクリックすると次の「LPRint98q 詳細設定」ダイアログボックスが表示されます。



印刷時にモニター画面を表示する

印刷状況を表示します。

印刷終了後にモニタを閉じる

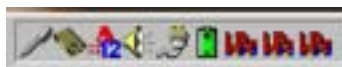
印刷終了後、自動的にモニタを閉じます。

キュー印刷をする

[チェックしない場合]

複数のプリンタへの同時印刷時には、複数のモニタが起動し、各プリンタへ同時に送信します。なお、上記の動作中タスクトレイには複数の LPRint98q アイコンが表示されます。この結果、複数のプリンタへの同時送信が可能なので、[チェックした場合]よりも早く印刷を終了することができます。この場合、次のように表示されます。

例) 3 台のプリンタへ同時印刷した場合



[チェックした場合]

複数のプリンタへの同時印刷時にも一つのモニタのみ起動し、一つ目のジョブが終了次第、次のジョブの送信を開始します。

例) 3 台のプリンタへ同時印刷した場合



ポーリング間隔

“キュー印刷を使用する”にチェックした場合のみ有効となります。

設定可能な範囲は「3～60」(秒)です。

プリンタのステータスを監視する

チェックすると、モニタ画面にプリンタの状態を表示します。

表示内容は「7.7.6.印刷のモニタおよび印刷の中止」をご覧ください。

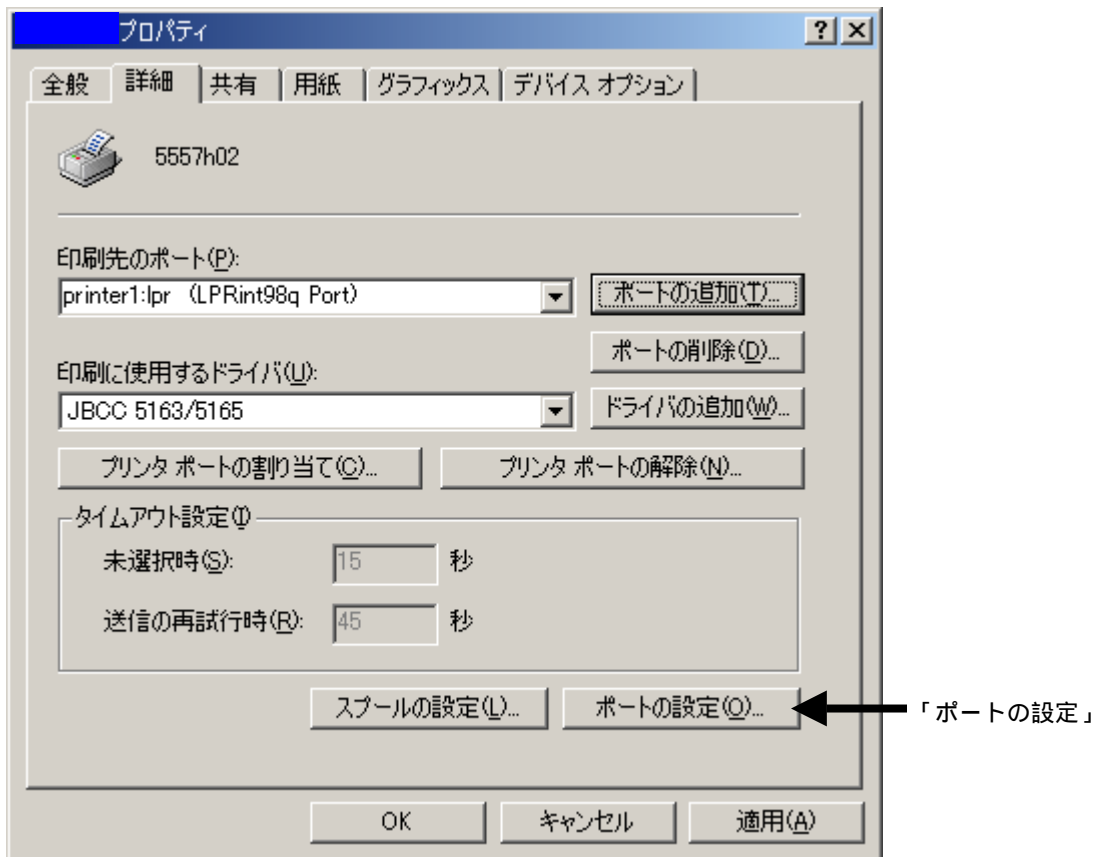
ステータス取得間隔

“プリンタのステータスを監視する”をチェックした場合のみ有効となります。

設定値の間隔で、プリンタの状態を監視します。設定範囲は「5～60」(秒)です。

6.4.4. ポートの変更

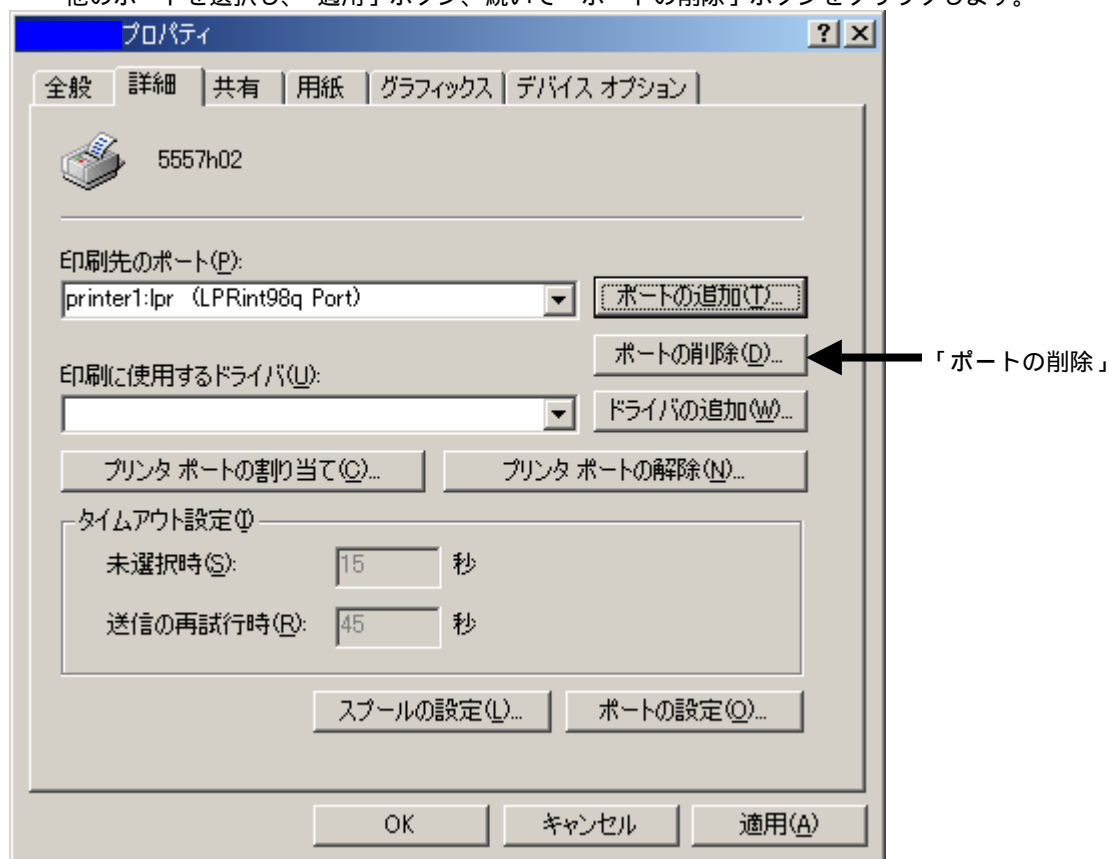
設定済みのポートの値を変更する場合は、スタートボタンから「設定」「プリンタ」変更するプリンタの「プロパティ」「詳細」タブの「ポートの設定」ボタンをクリックして「LPRint98qポート設定」ダイアログボックスでポートの項目変更を行ってください。(ポートの項目内容については「7.7.2.1.3」をご覧ください)



6.4.5. ポートの削除


- 1) 「プリンタ」ウィンドウから LPRint98q で作成したポートを使用しているプリンタを選択し、右クリック 「プロパティ」を選択します。

- 2) 「プロパティ」画面が表示されたら、「詳細」タブをクリックします。「印刷先のポート」から他のポートを選択し、「適用」ボタン、続いて「ポートの削除」ボタンをクリックします。



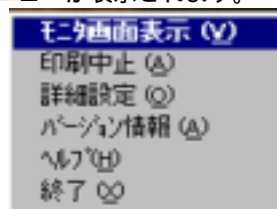
- 3) 「ポートの削除」画面が表示されたら削除するポートを選んで「OK」ボタンをクリックします。

6.4.6. 印刷のモニタおよび印刷の中止

印刷中タスクトレイに  このアイコンが表示されます。

このアイコンが出ている間はモニタ中です。

上のアイコンを右クリックするとメニューが表示されます。



- 1) モニタ画面表示

選択するとモニタ画面が表示されます。

モニタ画面にはジョブのステータスや、プリンタの状況などが表示されます。



「7.7.3.」のポートの詳細設定で「プリンタのステータスを監視する」をチェックしている場合のみ、信号の表示、オンライン/オフライン、用紙の各項目が表示されます。

【注意】Nibbleモードで印刷している場合は、オフライン情報/紙切れ情報は取得できません。また、プリンタによっては、オフライン情報/紙切れ情報を取得するのに必要なパラレル信号を出力しないものがあります。

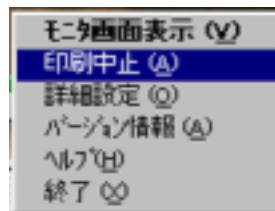
「隠す」ボタンを押すとモニタ画面を消すことができます。

メニューの詳細設定で「印刷時にモニタ画面を表示する」をチェックしている場合も印刷時にポップアップします。

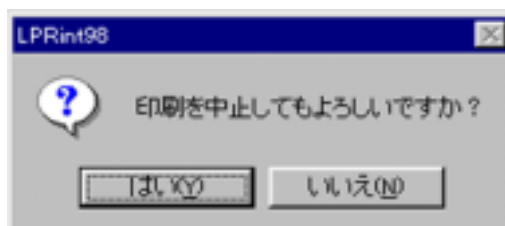
2) 印刷中止

印刷中のジョブを破棄し印刷を中止することができます。

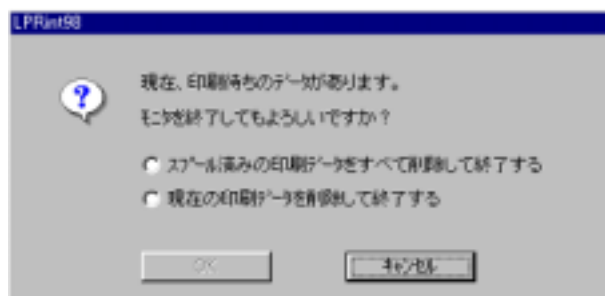
- a) 印刷中に上のアイコンを右クリックすると下図のように表示されます。
- b)



- c) 「印刷中止」を選択すると下図が表示されます。



印刷ジョブが複数スプールされている場合は、下図が表示されます。
すべての印刷データを削除するか、現在の印刷データを削除するか選択できます。

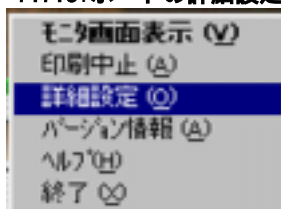


- d) 「はい」「OK」ボタンをクリックすると現在実行中の印刷が中止します。
キューの中にまだ送信されていない印刷ジョブがある場合は、次の印刷ジョブの送信が始まります。

【注意】送信済みのデータは破棄されません。

3) 詳細設定

詳細設定画面を表示します。 「7.7.3. ポートの詳細設定」をご覧ください。



4) バージョン情報

LPRint98q のバージョンを表示します。

(「7.7.1.LPRint98q のインストール」の LPRint98q のセットアッププログラム起動時に表示される以下のボタンをクリックすることからもバージョンを確認することができます。)



5) ヘルプ

ヘルプを表示します。

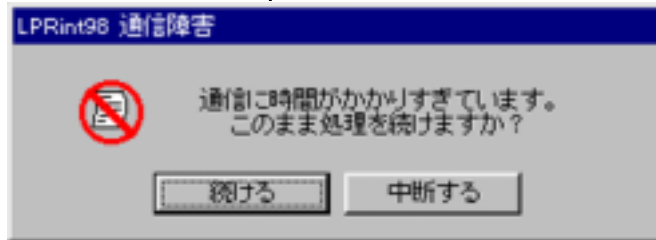
6) 終了

LPRint98q を終了します。

また印刷中のジョブは破棄され、印刷は中止されます。

キュー内にまだ送信されていない印刷ジョブがある場合は、次回起動時に送信されます。

【注意】 印刷を実行しスプールしている途中でモニタ画面がオフライン状態になった場合、しばらくすると下図の「LPRint98q 通信障害」画面が表示されます。



「続ける」ボタンをクリックするとこのまま印刷を続けます。クリックする前にもう一度オンライン状態であるかを確認してください。

「中断する」ボタンをクリックすると印刷を中断します。

6.4.7. LPRint98q のアンインストール

LPRint98q のアンインストールを行います。

ただし、LPRint98q が起動している場合は行えませんので **LPRint98q を予め終了**してください。

- 1) 「7.7.1.」の LPRint98q のセットアッププログラム起動時に表示される「削除」ボタンをクリックします。
- 2) LPRint98q のアンインストールプログラムが起動したら画面の内容に従って操作をしてください。

6.4.8. トラブルシューティング

1. 「通信に失敗しました。」画面が表示される。

以下の点が原因で表示されます。

Network Box 本体の電源が OFF になっている

ネットワークケーブルが接続されていない

この場合、モニタ画面はオフライン状態となります。 モニタ画面については「7.7.6.1)」をご覧ください。



「通信に失敗しました。」画面の「OK」ボタンをクリックすると次のエラー画面が表示されます。

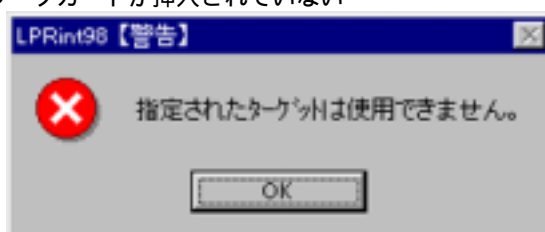
2. 「指定されたターゲットは使用できません。」画面が表示される。

以下の点が原因で表示されます。

Windows 95/98/Me 上のネットワークコンピュータの「プロパティ」に「TCP/IP」プロトコルが追加されていない

Windows 95/98/Me 上のネットワークコンピュータの「プロパティ」で「IP アドレスを指定」にチェックされていない

パソコンにネットワークカードが挿入されていない



「OK」ボタンをクリックした後、もう一度、Network Box 本体が ON になっているか、Network Box に通信できるかなど上記の点を確認して訂正してから印刷をしてください。

3. 特定のアプリケーションから印刷できない。

ポート名に使用できない特殊文字を入力している可能性があります。ポート名に英数字のみを入力してください。

第 7 章 その他

この章では、これまでに触れなかった事項について説明します。

7.1. DHCP での使用方法

Network Box は、DHCP サーバから IP アドレスを自動取得することができます。これにより、面倒な IP アドレスの管理を簡単にすることができます。Network Box を DHCP で使用する場合、

Network Box 本体の設定

DHCP サーバの設定

が必要です。起動時にサーバから IP アドレスを取得する方法として RARP、BOOTP がありますが、DHCP と RARP、BOOTP は異なります。

【注意】起動時にサーバから IP アドレスを取得する方法として DHCP、RARP、BOOTP がありますが、RARP/BOOTP の場合はサーバが起動していない場合は前回起動した IP アドレスにて起動しますが、DHCP を有効時に DHCP サーバが起動していない場合は、定期的に DHCP サーバへのリクエストパケットを送出して、TCP/IP による通信は行えませんのでご注意ください。動作 IP アドレスの決定方法につきましては、「3.1.3 動作 IP アドレスの決定手順」を参照ください。

DHCP で Network Box を使用する場合は DHCP サーバの設定時に Network Box の IP アドレスを必ず予約してください。

DHCP を使用すると IP アドレスの管理が簡単になりますが、各 DHCP クライアントが使用する IP アドレスが固定ではなくなります。Network Box を使用する場合、Network Box の IP アドレスが変わると印刷をするクライアントの設定変更が必要になる場合があります。

このような事態を避けるため、DHCP サーバに IP アドレスの予約ができるようになっています。IP アドレスの予約が必要になりますので、DHCP サーバの設定時に Network Box の IP アドレスを予約してください。

詳細は、「8.1.4. DHCP サーバの設定」をご覧ください。

【注意】ネットワーク上に WINS サーバが存在し、WINS による名前解決を行える環境でかつ Network Box の LANManager 設定で WINS が Enable に設定されていて DHCP が Enable の場合のみ IP アドレスの予約を行う必要はありません。

ただし、LPR 印刷を行う場合に指定するサーバの名前は、Network Box の LANManager のホスト名を必ず入力してください。（IP アドレスを指定されると DHCP で取得した IP アドレスと異なる場合には通信が行えないため）

WINS の詳細に関しましては、「7.3. WINS での使用方法」、LANManager に関しましては、「5.1.1. Network Box 本体の設定」をご参照ください。

7.1.1. DHCP 概要

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) は、IP アドレスの設定を簡単に集中管理する事を可能にしたプロトコルです。TCP/IP を使用する場合に設定できます。

Network Box で TCP/IP を使用しない場合は設定しないでください。

DHCP をサポートする機器には、IP アドレスをリース (貸与) する DHCP サーバと、DHCP サーバから IP アドレスのリース (貸与) を受ける DHCP クライアントがあります。Network Box は DHCP クライアントとして動作します。

DHCP クライアントは、起動時に DHCP サーバを自動的に探します。このとき、複数の DHCP サーバが存在すると、その中から1つのサーバを選択し、IP アドレスのリースを受けます。複数の DHCP サーバが存在した場合、Network Box は前回使用していた IP アドレスに近い IP アドレスを提供してくれる DHCP サーバを選択します。この方法により、Network Box は可能な限り前回と同じ IP アドレスを使用します。

DHCP サーバは、Network Box からの要求により、管理している IP アドレスの中から空いている IP アドレスを適当に選択してリースします。

よって、Network Box にどの IP アドレスが割り当てられるかは分かりません。

Network Box を使用する場合、Network Box の IP アドレスが変わると印刷をするクライアントの設定変更が必要になる場合があります。このような事態を避ける為に Network Box の IP アドレスを必ず予約してください。詳細設定は「8.1.4.1. IP アドレスを予約する場合」をご覧ください。

【注意】 ネットワーク上に WINS サーバが存在し、WINS による名前解決を行える環境でかつ Network Box の LANManager 設定で WINS が Enable に設定されていて DHCP が有効の場合にのみ IP アドレスの予約を行う必要はありません。ただし、LPR 印刷を行う場合に指定するサーバの名前は、Network Box の LANManager のホスト名を必ず入力してください。(IP アドレスを指定されると DHCP で取得した IP アドレスと異なる場合には通信が行えないため) WINS の詳細に関しましては「7.3. WINS での使用方法」、LANManager に関しましては、「5.1.1. Network Box 本体の設定」をご参照ください。

Network Box の LANManager 機能を有効にすれば、Windows95/98/Me/NT などから印刷する場合、IP アドレスではなくホスト名での指定が可能になります。この場合は、IP アドレスの予約は不要です。この場合には、LPR 設定を行ってあるプリンタを LANManager 設定にする必要があります。

【注意】 DHCP プロトコルはルータを介したネットワークにもアクセスできます。分割管理されているネットワークでは、意図しない DHCP サーバにアクセスする場合があります。ルータを使用している場合は、ルータの BOOTP リレーエージェントの設定をご確認ください。

さい。

【注意】 Network Box は、IP アドレスを取得できなかつたり、DHCP サーバがリースする IP アドレスのリースタイム（有効期間）が切れてしまった場合、Network Box 付属の Windows 用ユーティリティ WIP_SET.EXE との通信以外全ての TCP/IP 通信ができなくなります。

7.1.2. 設定概要

Network Box の DHCP 機能を使用するには DHCP サーバが必要です。

DHCP サーバは、WindowsNT Server を使用できます。WindowsNT Server のインストール時に DHCP サーバを選択すると、DHCP サーバ機能がインストールされます。

7.1.3. Network Box 本体の設定

Network Box 本体に DHCP を使用する設定をします。設定の方法は「3.1.1. Windows 用ユーティリティ WIP_SET での設定」および「第6章 設定ユーティリティの使用方法」をご覧ください。

7.1.4. DHCP サーバの設定

WindowsNT3.51/4.0 Server を DHCP サーバとして設定します。

WindowsNT3.51/4.0 Server 以外を DHCP サーバとして設定する場合は、基本的な設定項目はほぼ同じですが操作が異なりますので、ご使用のシステムのマニュアルを参照して設定してください。ここでは、WindowsNT3.51/4.0 Server に DHCP サーバ機能がインストールされている状態を前提として説明します。DHCP サーバ機能がインストールされていない場合は、DHCP サーバ機能をインストールしてください。

すでに DHCP サーバを設定し、運用されている場合は、DHCP サーバ上に新たなスコープを作成する必要はありません。「スコープの作成」は読み飛ばしてください。

ネットワーク上に WINS サーバが存在し、WINS による名前解決を行える環境でかつ Network Box の LANManager 設定で WINS が Enable に設定されていて DHCP が有効の場合にのみ IP アドレスの予約を行う必要はありません。この場合は、「7.1.4.2. WINS の解決に DHCP を使用する」を参照ください。

【注意】 DHCP の設定に関する詳細は、WindowsNT3.51/4.0 のリソースキットなどの解説書をご参照ください。

7.1.4.1. IPアドレスを予約する場合

ここでは、WindowsNT4.0 Server に DHCP サーバの設定を行う方法の概要を説明します。

WindowsNT3.51 Server に DHCP サーバの設定を行う方法に関しましては、WindowsNT3.51 のリソースキットなどの解説書をご参照ください。

【注意】 DHCP サーバの設定を行う方法に関する詳細は、WindowsNT3.51/4.0 のリソースキットなどの解説書をご参照ください。

DHCP サーバへのログイン

WindowsNT4.0 Server に Administrator (または同等権限のユーザ) でログインします。

DHCP マネージャの確認及び起動

「スタート」 「プログラム」 「管理ツール (共通)」 「DHCP マネージャ」があることを確認して、実行してください。

DHCP マネージャがインストールされていない場合は DHCP サーバ機能をインストールしてください。DHCP サーバ機能は、WindowsNT Server のパッケージに標準で含まれますが、インストール方法によってはインストールされない場合があります。WindowsNT Server のインストールマニュアルを参照し、DHCP サーバ機能をインストールしてください。

スコープの作成

1. DHCP サーバリストの「ローカルマシン」を選択し、メニューバーの「スコープ」から「作成」を選択します。
2. 開始アドレス、終了アドレス、サブネットマスク、リース期間を入力します。
開始アドレスと終了アドレスは任意ですが、サブネットワーク番号 (アドレスとサブネットマスクの論理積) を同じにする必要があります。
開始アドレスから終了アドレスまでのアドレスが、DHCP クライアントにリースされます。
同時に使用する DHCP クライアントの数よりも多くなるようにしてください。
サブネットマスクは、WindowsNT4.0 Server に設定してあるものと同じものを指定してください。
3. 「OK」を押すとアクティブにするかどうかを聞いてくるので、「はい」を押します。

IPアドレスの予約

1. DHCP マネージャで作成したスコープを選択し、メニューバーの「スコープ」から「予約の追加」を選択します。
2. IP アドレス、一意の ID、クライアント名を入力します。
IP アドレス : スコープ内で任意の数値を指定します。

一意の ID : Network Box 底面ラベルの MAC アドレスを指定します。
「00A07Axxxxxx」のような 12 桁の英数字です。

クライアント名 : Network Box に設定したホスト名です。
LANManager を使用しない場合は、Network Box 底面ラベルの
「LAxxxxxx」というデフォルト名を指定してください。

3. 「追加」をクリックすると IP アドレスが予約されます。予約された IP アドレスは、次の「アクティブリースの確認」で参照できます。

アクティブリースの確認

DHCP サーバが DHCP クライアントに IP アドレスをリースしている状況を、DHCP マネージャで確認できます。DHCP サーバがリースできる IP アドレスの数より DHCP クライアントの数が多い場合は、IP アドレスのリースを受けられない DHCP クライアントが発生する場合があります。Network Box 本体の設定をした後 Network Box を再起動すると、このアクティブリースでどの IP アドレスがリースされているかを確認できます。

1. 作成したスコープを選択します。
2. メニューバーの「スコープ」から「アクティブリース」を選択します。
3. アクティブリースの表示は、状況により変わります。以下は代表的な場合の例です。



スコープ作成直後のアクティブリースがない状態



IP アドレスが予約された状態



IP アドレスがリースされた状態

7.1.4.2. WINS の解決に DHCP を使用する

ネットワーク上に WINS サーバが存在し、WINS による名前解決を行える環境でかつ Network Box の LANManager 設定で WINS が Enable に設定されていて DHCP が有効の場合にのみ IP アドレスの予約を行う必要はありません。

ここでは、この場合に WindowsNT4.0 Server DHCP マネージャでの必要な設定の概要を説明します。

WindowsNT3.51 Server に DHCP マネージャの設定を行う方法に関しましては、WindowsNT3.51 のリソースキットなどの解説書をご参照ください。

【注意】 DHCP マネージャの設定を行う方法に関する詳細は、Windows4.0 のリソースキットなどの解説書をご参照ください。

すでに DHCP サーバを設定し、運用されている場合は、DHCP サーバ上に新たなスコープを作成する必要はありません。必要な場合は、「8.1.4.1. IP アドレスを予約する場合」の「DHCP サーバへのログイン」から「スコープの作成」までを参考にしてください。

ここからの説明は、予めスコープを作成されているものとして進めさせていただきます。

DHCP サーバへのログイン

WindowsNT4.0 Server に Administrator (または同等権限のユーザ) でログインします。

DHCP サーバのサービス起動確認

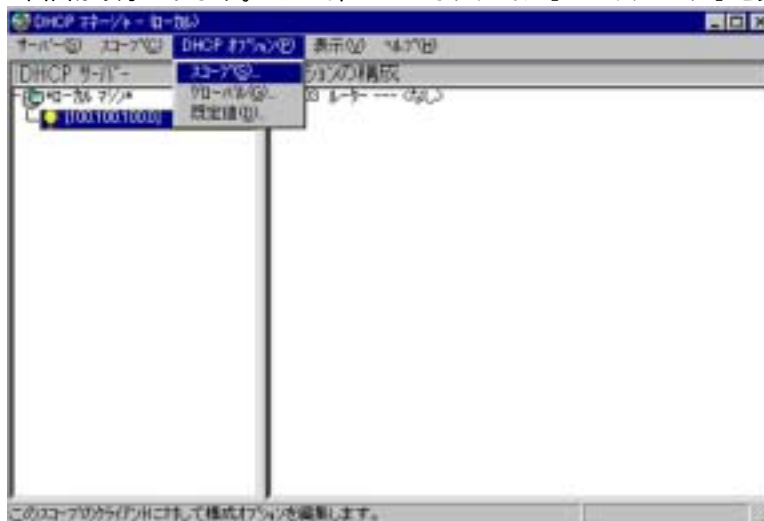
コントロールパネルの「サービス」をダブルクリックして「Microsoft DHCP Server」が起動されていることを確認してください。



DHCP マネージャの起動及び設定

1. 「スタート」 「管理ツール(共通)」 「DHCP マネージャ」を実行します。実行すると DHCP

マネージャの画面が表示されます。そこで、「DHCP オプション」「スコープ」を実行します。

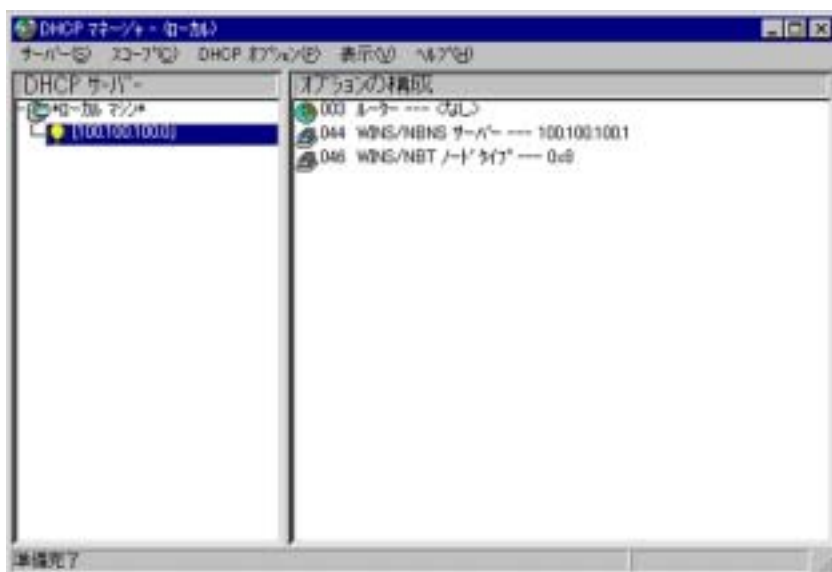


2. 「DHCP オプションスコープ」が起動したら、「使用しないオプション」の中から「044 WINS/NBNS サーバ」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。その際に、下記のメッセージが表示されますが、そのまま「OK」ボタンを押してください。「値」ボタンをクリックし、「配列の編集」ボタンをクリックしてください。「IP アドレス配列エディタ」が表示されますので、「新しい IP アドレス」の欄に WINS サーバの IP アドレスを入力して、「追加」ボタンをクリックしてから「OK」ボタンをクリックしてください。「DHCP オプションスコープ」の画面に戻りますので、「使用しないオプション」の中から「046 WINS/NBT ノードタイプ」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。「バイト」欄に、「0x8」を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。





3. 「DHCP マネージャ」画面が下記の例のように表示されれば、設定は終了です。



Network Box の本体設定及び確認

Network Box の本体設定で、DHCP 及び WINS を Enable にして起動し、Network Box が DHCP にて IP アドレスが取得できること及び WINS サーバの IP アドレスが DHCP サーバから取得できることを確認ください。DHCP のアクティブリースに関しては、「8.1.4.1 IP アドレスを予約する場合」のアクティブリースを参考にしてください。また、Network Box の本体設定の及び確認方法は「3.1.1. Windows 用ユーティリティ WIP_SET での設定」および「第6章 設定ユーティリティの使用法」をご覧ください。

7.1.5. DHCP 使用上の注意

1. Network Box の DHCP 機能を ON にした場合、DHCP サーバから IP アドレスがリースされるまで TCP/IP は使用できなくなります。IP アドレスの数が足りない場合や DHCP サーバが存在しない場合は、Network Box から TCP/IP プロトコルを使用した印刷はできません。

【対策】

DHCP サーバを立ち上げる。

DHCP サーバのスコープを追加・変更して、使用できる IP アドレスの数を増やす。

2. DHCP クライアントは、DHCP サーバから IP アドレスがリースされるまで TCP/IP は使用できません。クライアント PC が DHCP 機能を使用していると、IP アドレスの数が足りない場合や、DHCP サーバが存在しない場合に、TCP/IP プロトコルを使用できなくなる場合があります。

【対策】

DHCP サーバを立ち上げる。

DHCP サーバのスコープを追加・変更して、使用できる IP アドレスの数を増やす。

- 3 . DHCP プロトコルは動的に IP アドレスをリースしますが、DHCP クライアントが動作中に IP アドレスが頻繁に変わるわけではありません。DHCP クライアントは、リース期限前に更新手続きを行い、可能な限り同じ IP アドレスを使用し続けようとしています。動作中に IP がよく変わる現象が発生した場合は、ネットワーク構成を点検してください。

【対策】

ネットワーク接続機器の故障、ケーブルの断線・接触不良などがいないか点検する。

DHCP サーバでリースされている IP アドレスの数が十分か確認する。

DHCP サーバが正常に動作しているか確認する。

- 4 . Network Box の DHCP 機能を ON にした状態では、ARP コマンドと PING コマンドを使用した IP アドレスの設定ができなくなります。

【対策】

Network Box を DHCP サーバの存在しないネットワークに移設する際は、DHCP 機能を OFF にしてから移設する。

WIP_SET ユーティリティを使用する。(DHCP の設定に関係なく使用可)

- 5 . Network Box の使用 IP アドレスが変わると印刷できなくなる場合があります。

【対策】

DHCP サーバに Network Box の IP アドレスを予約する。

【注意】

ネットワーク上に WINS サーバが存在し、WINS による名前解決を行える環境でかつ Network Box の LANManager 設定で WINS が Enable に設定されていて DHCP が有効の場合にのみ IP アドレスの予約を行う必要はありません。

ただし、LPR 印刷を行う場合に指定するサーバの名前は、Network Box の LANManager のホスト名を必ず入力してください。(IP アドレスを指定されると DHCP で取得した IP アドレスと異なる場合には通信が行えないため)

WINS の詳細に関しましては「7.3. WINS での使用方法」、LANManager に関しましては、「5.1.1. Network Box 本体の設定」をご参照ください。

7.2. SNMP について

Network Box はネットワーク管理プロトコルの SNMP に対応しており、SNMP マネージャソフトウェアにより管理することができます。

Network Box は以下の標準に従います。

SNMP バージョン	SNMPv1 (RFC1157) 準拠 (SNMPv2 には対応していません)
トランスポートプロトコル	UDP/IP, IPX/SPX
コミュニティ名	Read-Only コミュニティ名及び Read-Write コミュニティ名を設定可
対応 MIB	MIB- (RFC-1213) の一部 HP Private MIB の一部
対応 PDU	GetRequest、GetNextRequest、SetRequest、GetResponse

SNMP での管理方法については、各 SNMP マネージャソフトウェアの操作マニュアルをご覧ください。

【参考】Network Box は、SNMP のコミュニティ名を使用して「PrintAdmin」以降にて設定及び管理が行えます。

7.3. WINS での使用方法

Network Box は、WINS (Windows Internet Name Service) がサポートされている環境で、コンピュータ名による名前解決 (コンピュータ名で IP アドレスを解決するためのメカニズム) を行うことが可能です。WINS をサポートしている環境では、Network Box の LANManager 設定で WINS を有効にすることで Network Box が起動時に WINS データベースにホスト名とその IP アドレスが自動的に登録され、ネットワーク内での名前の重複をさけることを可能にします。

また、下位プロトコルは TCP/IP を使用しているのでルータを経由しない印刷だけでなく、ルータを越えた印刷も可能となります。Network Box を WINS で使用する場合、

Network Box 本体の設定

WINS サーバの設定

クライアントの設定

が必要です。

また、DHCP を使用して Network Box の IP アドレスを取得する場合には、WINS と組み合わせて使用することにより IP アドレスを予約する必要がありません。DHCP での使用方法の詳細は、「7.1. DHCP での使用方法」をご参照ください。

【注意】LPR を使用して印刷を行う場合は、LPR 印刷の設定は Network Box の LANManager で設定されているホスト名を設定する必要があります。

LANManager に関しましては、「5.1.1. Network Box 本体の設定」をご参照ください。

7.3.1. WINS 概要

WINS (Windows Internet Name Service) は、コンピュータ名 (NetBIOS 名) と IP アドレスの両方を一意にすることにより、コンピュータ名による名前解決 (コンピュータ名を IP アドレスに解決するためのメカニズム) を実現します。

これにより、Windows95/98/Me/NT3.51/4.0 のセットアップ時に定義されたコンピュータ名を使用し

た操作が実現されるので、ユーザは IP アドレスを意識しなくても TCP/IP ネットワークを構築することが可能になります。

7.3.2. 設定概要

Network Box の WINS 機能を使用するには WINS サーバが必要です。

WINS サーバは、WindowsNT 3.51 / 4.0 Server を使用できます。WindowsNT3.51/4.0 Server に WINS サーバサービス / Windows インターネットネームサービスを組み込むことで使用できます。

また、WINS を使用して LPR 印刷を行うためには、Windows95/98/Me/NT3.51/NT4.0 のクライアントにて WINS による名前解決を有効にし、WINS サーバの IP アドレスを設定する必要があります。

【注意】WINS の設定に関する詳細は、WindowsNT3.51/4.0 のリソースキットなどの解説書をご参照ください。

7.3.2.1. Windows インターネットネームサービスの組み込み

ここでは、WindowsNT 4.0 Server に Windows インターネットネームサービスの組み込み方法の概要を説明します。WindowsNT3.51 Server に Windows サーバサービスを組み込む方法に関しては、WindowsNT3.51 のリソースキットなどの解説書をご参照ください。

【注意】WINS インターネットネームサービスの組み込み方法に関する詳細は、WindowsNT4.0 のリソースキットなどの解説書をご参照ください。

Windows インターネットネームサービスの組み込み方法

1. WindowsNT4.0 Server に Administrator (または同等権限のユーザ) でログインします。
2. 「コントロールパネル」の中の「ネットワーク」をダブルクリックして「サービス」を選択します。
3. 追加(A)ボタンを押して、ネットワークサービスの選択画面が表示されますので「Windows インターネットネームサービス」を選択してOKボタンを押してください。



4. 「サービス」の中に、「Windows インターネットネームサービス」が組み込まれたことを確認して、OKボタンを押してください。
「ネットワーク設定の変更」画面が表示されたら、「再起動」ボタンをクリックします。



5. 再起動した後に、「コントロールパネル」の「サービス」をダブルクリックして「Windows インターネットネームサービス」が起動されていることを確認してください。



【注意】Windows インターネットネームサービスを使用するためには、TCP/IP プロトコルが組み込まれている必要があります。

7.3.3. Network Box 本体の設定

Network Box 本体に WINS を使用する設定をします。設定の方法は「3.1.1. Windows 用ユーティリティ WIP_SET での設定」および「第6章 設定ユーティリティの使用法」をご覧ください。

7.3.4. クライアントの設定

Network Box に対して WINS による名前解決を行うためには、クライアント PC にも設定が必要です。WINS による名前解決を有効にし、利用する WINS サーバの IP アドレスを設定する必要があります。

Windows95/98/Me の設定

1. 「コントロールパネル」 「ネットワーク」をダブルクリックし、TCP/IP プロトコルを選択してプロパティを開きます。
2. 「WINS 設定」のタブをクリックし、「WINS の解決をする」にチェックを入れて、WINS サーバの IP アドレスを設定します。DHCP サーバより WINS サーバの IP アドレスを取得する場合は、「WINS の解決に DHCP を使う」にチェックを入れます。(ただし、DHCP が有効の場合のみ設定可能です。)



WindowsNT3.51 の設定

1. 「メイン」 「コントロールパネル」 「ネットワーク」をダブルクリックし、TCP/IP プロトコルを選択して構成ボタンをクリックします。
2. プライマリ WINS サーバの IP アドレスを設定します。

WindowsNT4.0 の設定

1. 「コントロールパネル」 「ネットワーク」をダブルクリックし、「プロトコル」タブをクリックし、TCP/IP プロトコルを選択してプロパティを開きます。
2. 「WINS アドレス」のタブをクリックして、プライマリ WINS サーバの IP アドレスを設定します。



7.3.5. WINS サーバの管理

Windows インターネットネームサービスの組み込み時に、プログラムグループの「管理ツール（共通）」グループに、WINS マネージャのアイコンが追加されます。

WINS マネージャを使用して、ネットワーク上のどの WINS サーバのパラメータでも表示し変更することができます。

【注意】WINS マネージャを使用して、WINS サーバの構成を行うには、WindowsNT4.0 Server に Administrator（または同等権限のユーザ）でログインしている必要があります。

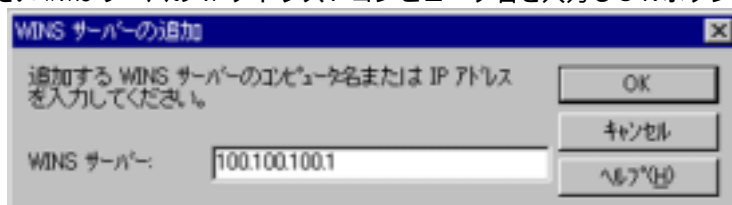
WINS マネージャの起動

1. WindowsNT4.0 Server に Administrator（または同等権限のユーザ）でログインします。
2. 「スタート」「管理ツール（共通）」「WINS マネージャ」を実行します。

実行すると WINS マネージャの画面が表示されます。

【注意】WINS 起動時に、Windows インターネットネームサービスが実行されていない場合には、「WINS サーバの追加」ダイアログボックスが表示されます。

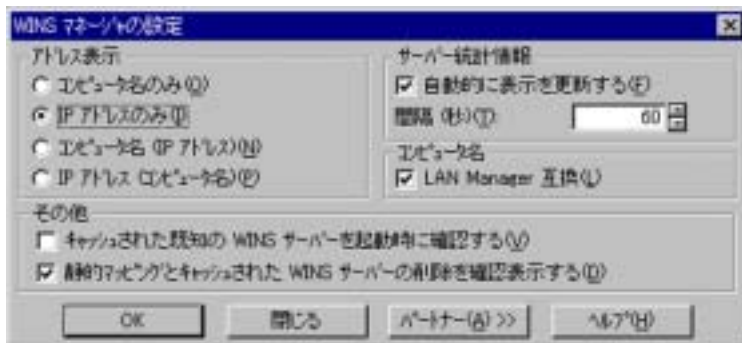
3. 管理したい WINS サーバに接続するために、「サーバ」「WINS サーバの追加」を実行し管理したい WINS サーバの IP アドレス / コンピュータ名を入力し OK ボタンを押します。



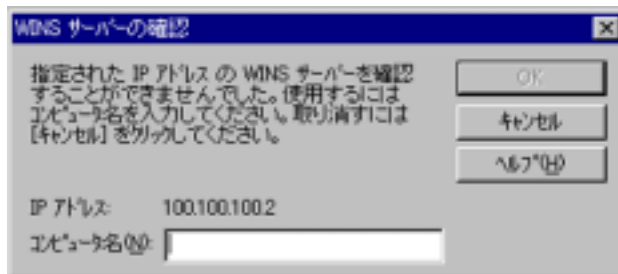
4. 管理したい WINS サーバに正常に接続されると下記のように表示されます。



【参考】WINS サーバの表示方法は、「オプション」「設定」のアドレス表示の項目によって IP アドレス / コンピュータ名の切り替えが可能です。



【注意】WINS サーバと正常に接続できない場合は下記メッセージが表示されますので WINS サーバが起動しているかどうか / 通信に問題がないかどうかなどをご確認ください。



5. 管理したい WINS サーバのデータベースに、Network Box が登録されることを確認します。確認するためには、「マッピング」「データベースの表示」を実行します。



【注意】WINS サーバのデータベースに登録されるまでには、最低 60 秒かかります。

また、マッピングは動的(属性が A のとき = 静的マッピングを行っていない場合)に変化しますので Network Box が起動していない場合などはマッピングに表示されなくなります。

【注意】Network Box の LANManager 設定で、WINS を Enable に設定し WINS SERVER IP が設定されている必要があります。LANManager に関しましては、「5.1.1. Network Box 本体の設定」をご参照ください。WINS SERVER IP を DHCP にて取得する場合に関しましては、「7.1.4.2. WINS の解決に DHCP を使用する」をご参照ください。

付録 A 故障診断

付録 A.1. 設定ユーティリティ

Network Box の故障診断は、TCP/IP 環境の方は TELNET で、NetWare 環境の方はテスト印刷で、エラーコードを見ることで行うことができます。詳細は、「第 6 章 設定ユーティリティの使用方法」をご覧ください。

付録 A.2. テストスイッチ

設定の印刷

Network Box には本体側面にテストスイッチがあります。このスイッチを押すことにより、Network Box に接続されたプリンタに、Network Box 本体に設定された内容を印刷することができます。

Network Box の電源が入っていて、Network Box に接続されたプリンタが印刷可能（オンライン）な状態でテストスイッチを押してください。

印刷された内容が、お客様の設定した内容になっているか確認してください。

【注意】印刷データはテキスト（ASCII）データですので、一部のプリンタでは、正常に印刷されない場合があります。

設定の初期化

テストスイッチを押しながら Network Box の電源を入れ、そのまま 15 秒以上テストスイッチを押し続けると、Network Box 本体内部の設定は工場出荷時のデフォルト設定に戻ります。

トラブルの原因が不明で、初めから設定をやり直したい場合にご利用ください。

【注意】デフォルト設定

工場出荷時の状態は、第 6 章の表 6-2 をご覧ください。

付録 B バージョンアップ

Network Box は内部フラッシュ ROM を搭載しています。弊社から、プログラムモジュールを入手することにより、ファームウェアプログラムのバージョンアップが簡単に行えるようになっています。

バージョンアップを行う前に現在のバージョンを telnet , テスト印刷等で確認してください。

付録 C 製品仕様

付録 C.1. 一般仕様

No	項目	仕様
1	L A Nインターフェース	Ethernet V.2(IEEE 802.3) 10BASE-T/100BASE-TX
2	プリンタインターフェース	セントロニクス アンフェノール 36PIN(杖)
3	供給電源	D C 5 V ± 4 %
4	外形寸法	6 2 × 9 6 × 2 6 [mm] ただし突起部分含まず
5	重量	8 0 g
6	消費電力	2 . 0 W
7	使用周囲温度範囲	5 ~ 4 0
8	保存周囲温度範囲	- 1 0 ~ 6 0

本マニュアルに記載されている内容は改良のため予告無く変更することがありますのでご了承ください。